

平成17年度版

TOURISM OF SAPPORO

# 札幌の観光

Welcome to Sapporo

ようこそ

きらめく四季の

札幌へ

札幌市

# 目次

第1章	札幌市の観光への取り組み	
1	札幌新まちづくり計画	1
2	平成17年度観光文化局観光部の機構・職員数	9
3	平成17年度観光部の事業概要	10
4	トピックス	17
第2章	観光客の入り込み状況	
1	調査方法の変更	19
2	平成16年度の動向	19
3	観光客の入り込み状況	20
4	交通機関別入り込み状況	22
5	日帰り・宿泊客別入り込み状況	23
6	道内客・道外客別入り込み状況	24
第3章	宿泊施設	
1	宿泊調査の概要	25
2	宿泊施設の状況	26
3	宿泊施設利用状況	27
4	外国人の宿泊状況	30
5	修学旅行生の宿泊状況	34
第4章	イベントとコンベンション	
1	札幌でのイベント開催状況	36
2	札幌でのコンベンション開催状況	42
第5章	参考資料	
1	観光施設等利用状況	44
2	定期観光バス利用者数(北海道中央バス)	46
3	札幌発着航空路線	47
4	気象概況	48
5	札幌観光のあゆみ	49
6	平成17年度のイベントカレンダー	51

# 第1章 札幌市の観光への取り組み

## 1 札幌新まちづくり計画

「札幌新まちづくり計画」は、平成16年度から18年度までを計画期間とした札幌市のまちづくりのプランです。この計画は、市民と市が共有する理念や指針を基に、取り組みを進めていくため、まちづくりの理念や指針を表す「ビジョン編」と、ビジョン編に基づいて市が重点的に実施する事業を計画化する「重点事業編」の2編構成となっています。

この計画では、市民にとってのより身近な将来像を「市民生活の姿」として描くとともに、都市の構成員が協働してまちづくりを進めるうえで、各主体に期待される主な役割についても示しています。また、行政が担う役割を踏まえて、札幌市が計画期間内に重点的に取り組む事柄を「施策の基本方針」として掲げ、その具体的な内容を「施策」として記述しています。

この計画においては、「協働による観光振興とコンベンション事業の推進」が17の重点戦略課題の一つに設定されていますが、その具体的な内容は以下のとおりです。

### 重点戦略課題 協働による観光振興とコンベンション事業の推進 市民生活の姿

四季が織りなすゆたかな魅力に恵まれた観光都市としての優位性を一層高め、まちが人々を引きつけ、迎える市民のおもてなしでもう一度訪ねたくなるまちになっています。さらに、国内外の人々の交流を演出する多くのコンベンション<sup>注</sup>の開催で、活気があり新たな市民文化をはぐくむまちになっています。

#### 現状と課題

##### 観光客の入り込み状況

札幌を訪れる観光客は、昭和61年度から平成3年度まで急速な伸びをみせた後、バブル経済崩壊の影響もありいったんは低下しました。その後は持ち直したものの、近年は、1,300万人程度で推移しています。

また、海外からの来客は、延べ宿泊者数でみると、平成5年度は90,205人で、その10年後の平成14年度は232,072人と2.6倍に増加しましたが、都道府県別の海外来客の訪問率をみると、平成14年度で9.1%(7位)となっています。観光やビジネスなどで、より多くの方々が札幌を訪れることは、札幌の基幹産業ともいえるすそ野の広い集客交流産業<sup>注</sup>に活況を生み、それが広い分野に波及し、雇用の機会が増えるなど地域の経済振興にとって有力な手段になります。さらに、市民と訪れた方との交流が盛んになることで、新たな文化の創出などさまざまな効果が期待できます。そこで、現状の来客数を飛躍的に高めていくことが、札幌にとって大きな課題となっています。

札幌への観光客の入り込み時期をみると、夏場や年末年始、雪まつり時期などに集中し、この期間のホテルの客室稼働率は高いが、これらの時期以外は、限られた来札者を奪い合う厳しい価格競争が展開され、利益を生み出しにくい状況にあります。このため、年間を通じて安定した集客につなげていくことが、本市の集客交流産業全体にとって大きな課題となっています。

注 コンベンション：大会、会議、展示会、見本市、イベントなどの非日常的な人の集まりを核として、人や物、知識、情報、技術を

呼び込むしくみ。

注 集客交流産業：来客への直接的なサービス提供（主なものは、飲食、買い物、レジャー、コンベンション、交通、宿泊）に関連する産業や来客への情報提供（主なものは、観光企画、情報メディア、印刷、通訳）に関連する産業を指す。

### 集客交流資源の活用・新たな発掘

札幌には、藻岩山などのゆたかな自然や新鮮な食材、定山溪温泉、四季折々の祭りやイベントに加え、札幌コンサートホール（キタラ）札幌ドーム、モエレ沼公園など数多くの集客交流資源があります。今後は、来客数を増加させるために、それらにふさわしい付加価値づくりや観光ツアーコースの開発などにより、芸術・文化、スポーツなどのハード・ソフトの資産を積極的に活用し、市民と来客が共に楽しめる新たな魅力を発掘する必要があります。

### ホスピタリティ<sup>注</sup>の充実

札幌への来客数を増やしていくためには、まず市民一人ひとりの温かいおもてなしの心と交流に寄せる熱意をはぐくむとともに、各企業がそれぞれの立場で、また、いろいろな機会を通じて、外国人をはじめとする旅行者を温かく迎える環境を整えていく必要があります。

国内外の観光先進地と比べ、旅行者に対する歓迎メッセージや、外国語標記が少ないこと、旅行者のニーズに対応した観光情報の提供などが必ずしも十分でないことから、市民、関係業界、行政が一体となってホスピタリティの一層の充実を図っていく必要があります。

ホスピタリティ：来客に対して、受け入れ側の人々が気持ちよく接し、快適で強い印象と深い満足感を与え、再び訪れたいくなるようにさせる心のこもったおもてなし。

### コンベンション誘致・支援の強化

集客効果の高いコンベンション誘致をめぐる都市間競争が激しくなる中で、平成15年6月に、札幌コンベンションセンターがオープンしました。今後より一層、経済効果の高い大規模コンベンション、都市の知名度アップにつながる国際コンベンション、参加者と市民の交流が図られる社会的効果の高いコンベンションの誘致を推進する必要があります。

### 札幌での主な大規模コンベンション(実績)

年	開催月日	名 称	参加国・人数
H12	11.6 11.11	第55回国際青年会議 所世界会議札幌大会	102地域8,000人(海外1,500人)
H14	5.31 6.30	2002ワールドカップ サッカー大会	
	10.13 10.18	第6回DPK(障害者イン ターナショナル)世 界会議	110カ国3,113人(海外844人)
H15	6.30 7.11	国際測地学・地球物理 学連合総会(IUGG)	77カ国4,645人(海外2,158人)

	10.31 11.7	アジア野球選手権（兼アテネ五輪予選）	7カ国・地域250人
--	------------	--------------------	------------

#### 道内各市町村との連携

札幌は、北海道の交通網の要衝となっていることから、観光やコンベンションの拠点機能の一層の強化を図る必要があります。また、道内の魅力的な観光地との連携や協力を一層進め、誘致宣伝活動の共同化や情報のネットワーク化、周遊ルートの開発を進めることにより、北海道観光の魅力を高めるとともに、札幌での滞在期間の延長を促す必要があります。

#### 各主体の主な役割

市民 ・NPO等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来客を温かく迎えるおもてなしの実践</li> <li>・地域の魅力づくりへの参画</li> <li>・ボランティアの育成と自立化の支援 など</li> </ul>
企業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光商品の開発、誘致宣伝活動</li> <li>・観光客などへのより良いサービスの提供</li> <li>・観光都市を支える人材の育成 など</li> </ul>
関係団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外向けの誘致宣伝活動</li> <li>・観光関係者の資質の向上</li> <li>・観光資源の保護・活用の促進 など</li> </ul>
大学等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光（情報）に関する研究者などの人材育成</li> <li>・集客交流に関する研究情報の発信</li> <li>・企業、行政との共同調査・研究 など</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、NPO、企業、関係団体などとの連携促進や支援</li> <li>・国・北海道・他市町村との連携促進による施策展開 など</li> </ul>

#### 施策の基本方針

世界の集客交流都市さっぽろの実現に向けて、札幌の基幹産業の一つである観光やコンベンションの一層の振興に努めていきます。

道内各市町村との連携や市民・企業との協働により、まち全体で誘致・PRやホスピタリティあふれるおもてなしを進めるとともに、芸術や地域文化などのハード・ソフトの資産を集客交流資源として積極的に活用しながら、札幌独自の魅力づくり、情報発信を進め、将来目標として来客2,000万人を目指します。

#### 施策

##### 集客交流都市としての魅力の発信

年間を通じて繰り広げられる祭りやイベントなどさまざまなエンターテインメントが楽しめる都市と鮮やかな四季の変化やゆたかで美しい自然とを融合させた札幌独自の魅力づくりを進め、集客交流資源として積極的に活用していきます。

このような札幌独自の魅力を生活文化も含めて国内外に情報発信するシティPR<sup>注</sup>を積極的に展開します。

また、映画などのロケーション誘致を推進する「フィルムコミッション<sup>注</sup>事業」を展開するなど多角的に本市のイメージアップを図ります。

注 シティPR：都市の知名度やイメージの向上を図るための各種PR。

注 フィルムコミッション：映画、テレビドラマ、CM撮影などにおけるロケーションをスムーズに進めるためのさまざまな情報やサービスを提供する支援組織で、自治体の一部署や民間団体または両者の協力機関で組織する非営利組織。

事業名	事業内容	事業費	備考
芸術・文化を活用したまちの魅力発信事業	札幌の芸術・文化を新たな観光資源として活用し、イサム・ノグチ、モエレ沼公園などをテーマにした誘致プロモーション（宣伝活動）を実験的に展開します。	16百万円	観光業界向けセミナー開催 広告宣伝媒体の作成 など
さっぽろフィルムコミッション事業	札幌の持つ自然や街並み、歴史や市民文化などの都市の魅力国内外に発信するとともに、札幌における映像文化の振興を図るため、映画、テレビなどのロケーションの誘致や支援を進めます。	73百万円	市民エキストラ <sup>注</sup> 育成 海外向けロケ誘致活動 など
映像を活用したまちの魅力発信事業	映像ロケーション都市としての札幌の魅力発信し、また、札幌における映像文化の振興を図るため、在札若手映像作家によるロケーション地（撮影場所）のショートストーリー（短編映画）制作、紹介を行います。	5百万円	
「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担	姉妹都市ミュンヘン市の年中行事であるクリスマス市を、ホワイトイルミネーションの実施に合わせて大通公園で開催し、ミュンヘンの文化を身近に感じる冬の集客交流イベントとして推進します。	36百万円	実行委員会に対する負担金
都心にぎわいづくり事業	大道芸を中心とした秋のイベント「だい・どん・でん！」や、既存イベントにパフォーマンス <sup>注</sup> を付加したり新たなイベントを行う「都心にぎわいづくり事業」に対して、事業費の補助を行います。	45百万円	
集客交流・シティPRキャンペーン（ビ	市民、企業と協働して、戦略的にPR冊子を配布したり、	90百万円	

ジュアルプロジェクト)	市民自らがポストカードにより来札を呼びかけるなど、札幌のさまざまな魅力を視覚に訴え、来札意欲を高める事業を展開します。		
国内観光プロモーション	首都圏、関西圏、地方中核都市などのマスコミ、観光事業関係者、一般市民などを対象として、イメージ発信、宣伝、旅行商品開発支援などを行います。	34百万円	
首都圏シティPR事業	観光客、コンベンション等の誘致、都市のイメージを向上させるため、各種媒体の効果的な利用や集客イベントなどを通じた首都圏でのシティPRを推進します。	79百万円	
ノルディックスキー世界選手権札幌大会を活用したシティPRおよびおもてなし事業	2007年ノルディックスキー世界選手権札幌大会およびブレ大会の開催に合わせて、札幌の魅力を積極的にPRするとともに、臨時観光案内所を設置するなどおもてなし事業を行います。	3百万円	
国際観光誘致事業	中国、韓国をはじめとする東アジアを中心にオセアニアを加えた地域を対象として、イメージ発信、宣伝、旅行商品開発支援などを行います。	37百万円	
東アジア都市間交流推進事業	東アジア地域との都市間交流を推進するため、中国、韓国から映像文化などの分野のキーパーソン(中心人物など)を招いて両国の文化を紹介するイベントを行うとともに、両国の都市で札幌の都市PRを行います。	10百万円	

注 エキストラ：映画、演劇などで、群集シーンなどに、臨時に雇われる出演者。

注 パフォーマンス：街頭などで行う演技、演劇、演奏などの表現。

## ホスピタリティ向上の推進

このまちが好きだからこそ温かく迎えたい。そんな心温まる「おもてなし」の気持ちを、札幌の新たな集客交流資源として活用します。そのために、さまざまな機会をとらえ、まちぐるみで観光案内機能や外国語標記の充実、市民、企業へのPRや研修の実施など、ホスピタリティの向上への取り組みを推進します。

事業名	事業内容	事業費	備考
集客交流・シティPRキャンペーン（おもてなしプロジェクト）	市民、企業と協働して、市民のおもてなし意識を高める事業や来訪者に歓迎の気持ちを表す事業など、まち全体で来訪者を温かく迎える事業を展開します。	46百万円	おもてなし広告 宣伝 ウェルカムフラッグ（歓迎のための旗）掲出 観光ボランティア研修 など
ホスピタリティ育成支援事業	市観光ボランティアの一層の質の向上を図っていくため、観光業界を対象としたホスピタリティ研修などに対して事業費の補助を行います。	6百万円	

#### コンベンション誘致・支援の推進

札幌コンベンションセンターを中心にホテルなど他のコンベンション施設との連携を強化し、札幌ならではの利便性とサービスの向上、さらにはアフターコンベンション<sup>注</sup>の充実に努めます。また、行政や民間を問わずオール札幌としての機動的な誘致活動やさまざまな支援体制を整備し、経済効果の高い大規模なコンベンションや国際コンベンション、社会的効果の高いコンベンション誘致を推進します。

注 アフターコンベンション：コンベンションの後の観光旅行や視察・体験実習など。

事業名	事業内容	事業費	備考
集客交流・シティPRキャンペーン（コンベンションプロジェクト）	市民、企業と協働して、市長による直接の誘致活動など、国内外から会議やイベントを積極的に誘致する事業を展開します。	50百万円	インセンティブツアー <sup>注</sup> 誘致支援 テクニカルツアー <sup>注</sup> 支援 海外現地広告媒体買取広告掲載など

注 インセンティブツアー：企業や団体が、内部の活性化や長期的な観点からの販売戦略として、社員や関係者の販売意欲の向上のために招待する団体旅行。

注 テクニカルツアー：工場、店舗などのビジネスの現場や関連する博物館等の施設の視察や関係者による説明・紹介などを含む旅行。

#### 住んで快適、訪ねて楽しいまちづくりの推進

集客交流資源の発掘・活用を図るため、都心の整備や美しい都市景観の形成、藻岩山、定山溪温泉などのゆたかな自然環境や市内各所に残る歴史的資産の保全・活用など地域の魅力づくりを目的とした主体的なまちづくり活動に対し、さまざまな側面からの支援を実施します。



また、情報の共有化や相互連携などを図りながら、住んで快適、訪ねて楽しいまちづくりを推進していきます。

事業名	事業内容	事業費	備考
藻岩山観光魅力アップ構想推進	重要な観光資源である藻岩山の魅力向上に向けて、市民議論を行いながら基本構想の策定を行い、市、事業者の適切な役割分担のもと、事業計画の策定などを行います。	12百万円	
定山溪温泉活性化補助	定山溪地区の観光活性化に向けた自主的なまちづくり活動や、来客誘致のためのPR、受入体制づくりなどのソフト事業に対して事業費の補助を行います。	9百万円	
国際化推進プラン推進事業	外国人も暮らしやすい環境づくりを進めるため、外国人市民の生活に必要な情報提供を充実するとともに、外国人も参加する市民会議により国際化のまちづくりについて検討します。	12百万円	

#### 道内各市町村と連携した魅力の発掘・アピール

札幌は、北海道の交通網の拠点となっていることから、今後は、他の道内観光地域との連携や協力を一層進め、情報のネットワーク化など先導的な役割を担っていきます。また、札幌や北海道がもつさまざまな独自の魅力を国内外に強力にアピールし、来札意欲を高めるとともに、札幌での滞在期間の延長につながる体験型・滞在型観光の振興に取り組みます。

事業名	事業内容	事業費	備考
札幌ビジターズセンター事業	国内外から札幌を訪れる来客に対し、道内観光情報の発信などを行うおもてなしの中核拠点、「さっぽろビジターズセンター」に対する支援を行います。	-	
フードランド北海道開催費補助	道産食材の消費拡大、観光客誘致の促進、関連産業の活性化を目的に、地産地消をテーマとしたさまざまなイベントを実施する「フードランド	30百万円	

	北海道」事業に対し、事業費の補助を行います。		
丘珠空港整備と空港周辺のまちづくり事業	丘珠空港の道内航空網の拠点空港としての機能を保持するため、整備費の一部を負担するとともに、空港緑地の整備など丘珠空港周辺のまちづくり構想に基づく事業を実施し、空港と調和したまちづくりを進めます。	3,477百万円	丘珠空港整備事業 負担金 空港緑地整備事業 南東地区(継続) 北西北東地区 (新規)

成果指標	(現状値)	(目標値)
年間来客数	1,325万人 (H14)	1,500万人 (H18) (将来目標は2,000万人)
来客の満足度	84.5% (H14)	90.0% (H18)
ボランティア体験参加者数(延べ人数)	3,609人 (H14)	10,000人 (H18)
コンベンション誘致件数	608件 (H15)	1,000件 (H18)

## 2 平成17年度観光文化局観光部の機構・職員数

局長	部長	課長	係長	係員
観光文化局長	観光部長	観光企画課長	庶務係長	3名
			計画担当係長	1名
			観光資源担当係長	1名
		シティPR担当課長	コンベンション担当係長	2名
			誘致宣伝担当係長	2名
			受入推進担当係長	2名
		事業調整担当課長	事業係長	3名
			事業調整担当係長	1名
		定山溪地区担当課長	定山溪地区担当係長	
		課長職（外務省派遣）		
		課長職（財札幌国際プラザ派遣）	係長職（財札幌国際プラザ派遣）	
			係長職（財札幌国際プラザ派遣）	2名
			係長職（財札幌国際プラザ派遣）	
	係長職（財札幌国際プラザ派遣）			
1名	1名	6名	13名	17名
合計職員数 38名				

### 3 平成17年度観光部の事業概要

来札観光客入り込み等の調査分析及び情報提供【計画担当】

札幌市への来札観光客の入り込み状況や宿泊施設の利用状況などを、札幌市の交通機関や宿泊施設に調査を依頼し、その回答を取りまとめて、本書「札幌の観光」やインターネットによって情報提供を行っています。

札幌の観光行政（観光統計データ）

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>

集客交流促進に関する企画、調査、研究【計画担当】

インターネットによって情報提供を行っています。

札幌の観光行政（計画・調査レポート）

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/program/program.html>

平成17年度は以下の調査を行っています。

#### （1）来札客の満足度調査

来札客の満足度を視点に、観光都市としての札幌の受け入れ体制の現状と課題を把握するとともに、今後の集客交流促進施策の検討のために、来札客に対するアンケート調査を行っています。

#### （2）観光産業経済波及効果調査

北海道、（社）北海道市町村振興協会、（社）北海道観光連盟等との連携により、北海道における観光による消費規模の実態を把握するとともに、観光消費がもたらす北海道経済及び札幌市経済への波及効果を分析する調査を、平成16年度～17年度の2ヵ年かけて行っています。

札幌旅行商品造成支援会議の開催【計画担当】

首都圏の旅行代理店の旅行商品企画担当者と札幌の観光関係事業者により構成される会議です。札幌の観光関係事業者が、札幌観光の新たな素材を、旅行商品企画担当者に紹介し、意見交換を進めることによって、札幌の新しい魅力を組み込んだ、首都圏から札幌への旅行商品の造成を目指しています。

札幌観光プロモーション助成事業【計画担当】

平成16年度に実施した「首都圏の札幌観光マーケティング調査」によると、札幌観光に対するイメージは固定化されており、新しいイメージを定着していく必要があることから、観光客誘致の最大の市場である首都圏及び関西圏において、札幌の新しいイメージを取り入れた札幌の観光プロモーションに資する事業に対し、その費用の一部を助成し、札幌観光のイメージ発信を活性化することにより、札幌への来客の増加を目指しています。

事業の募集期間は、平成17年7月1日（金）～7月29日（金）でした。

藻岩山魅力アップ構想推進事業【観光資源担当】

藻岩山は眺望、夜景のスポットとして札幌を代表する集客交流資源です。しかしながら、当初の整備から相当期間を経過したことなどから藻岩山の持つ魅力が十分発揮されていない状況にあります。そこで、平成16年度は、有識者、公募市民で構成される懇談会や市民フォーラム等を行い藻岩山の魅力アップについて検討を行い、17年3月に懇談会の提言が報告書としてまとめられました。

本年度は、懇談会の提言に基づき、「5月31日は藻岩山の日」など藻岩山の魅力を高めるソフト事業を推進していくとともに、提言の具体化を図るため、ソフト・ハード面でさらなる検討を行います。（トピックス参照）

#### 定山溪観光客来客誘致関連補助【観光資源担当】

定山溪地域では、観光協会、事業者、地域住民等により、「定山溪まちづくり委員会」を設置し地域の活性化について検討を行い平成15年度にはビジョン平成16年度にはアクションプランを策定しました。

本年度は、このアクションプランに基づき、「山野草 湯の里 定山溪」のコンセプトの下、温泉街の活性化を目指す地域の取り組みに支援を行います。（トピックス参照）

#### コンベンションの誘致・支援施策の調査・企画【コンベンション担当】

- ・大規模・国際的なコンベンション（例：先進国首脳会合、日本医学会総会、その他政府系国際会議 など）の誘致に向けた関係者（道 経済団体 企業等）との意見交換や調整を図るなど、戦略的な誘致に向けた取り組みを行っています。
- ・コンベンション開催資金貸付制度や誘致促進助成金制度の整備、運用や、観光施設割引クーポン付ガイドブックの提供、割引地下鉄1日乗車券「Aカード」の販売等を通じて、参加者のアフターコンベンションを促すなどコンベンション推進施策を実施しています。
- ・平成15年度には、市内で開催された国際会議等の開催に伴う経済波及効果の測定を実施しました。（国際会議2件、国内会議2）
- ・戦略的なコンベンション誘致を行うため、コンベンションビューロー、コンベンションセンター、東京事務所シティセールス担当との情報共有や連携を図っています。
- ・国レベルの誘致推進機関である独立行政法人国際観光振興機構（JNTO）や日本コングレス・コンベンション・ビューロー（JCCB）との事業連携を図っています。

#### 財団法人札幌国際プラザコンベンションビューローとの連絡調整【コンベンション担当】

コンベンションビューローへの補助金を交付するとともに、コンベンション誘致に係る事業実施において、市長招聘状の発行、キーパーソン招聘時の表敬対応などの調整を行っています。

「コンベンションビューロー」は、コンベンションを誘致するため、誘致段階（誘致プレゼンテーション資料の提供、招聘状の送付など）、開催段階（コンベンション運営の手伝い、ボランティアの派遣）等の事業を主な活動として行う非営利の推進機関です。

#### 「札幌コンベンションセンター」の運営管理【コンベンション担当】

財団法人札幌国際プラザに委託し、札幌コンベンションセンターの運営管理を行っています。（稼働率、コンベンション開催状況等については、42ページを参照）

#### 「札幌流通総合会館（アクセスサッポロ）」を運営管理する財団法人札幌産業流通振興協会との連絡調整【コンベンション担当】

札幌流通総合会館（アクセスサッポロ）建設費充当金に対する貸付に関する業務などを行っています。

財団法人札幌産業流通振興協会は、工業製品等の展示会、見本市等の開催、誘致及び施設の管理運営を主な業務とする財団です。

### 札幌国際見本市委員会との連絡調整【コンベンション担当】

平成16年度から、見本市委員会事務局を財団法人札幌産業流通振興協会に移管しました。

### 「さっぽろフィルムコミッション」との連絡調整【コンベンション担当】

さっぽろフィルムコミッションへ補助金を交付するとともに、ロケ実施時における道路、公園、公共施設使用における許可にかかる連絡調整を行っています。（平成16年度ロケ対応件数152件）

### 芸術・文化を活用した街の魅力創造・発信事業【誘致宣伝担当】

本市が持つ芸術・文化、いわゆるアートを集客につなげていくために、アートを観光資源として全面に出したPRを実験的に行います。

とくに、世界的彫刻家イサム・ノグチ氏のマスタープランによるモエレ沼公園が、平成17年7月にグランドオープンを迎えたことを機に、同公園で展開されるアート関係事業の実施および支援を行うとともに、こうした事業を中心としたPRを行います。（トピックス参照）

### 国内マーケットに対する観光誘致宣伝【誘致宣伝担当】

札幌への観光客の入り込みのうち、約45%は道外からの来客であり、消費行動などの経済効果も大きい道外からの観光客誘致に重点的に取り組んでいます。特に、約3,000万人の人口を抱え、札幌への来客数の割合の多い首都圏にむけたPRを中心に、有望なマーケットに対して、誘致宣伝を行います。

#### （1）ターゲット別国内観光プロモーション事業

首都圏、関西圏及び中部圏において、札幌の観光の魅力強くアピールし、観光客の誘致促進に結びつけるため、旅行会社及びマスメディア向けにPRを行うとともに、双方向での意見交換を行う「Round-Table about Sapporo Tourism」を開催し、新たな魅力やイメージの発信を行います。

#### （2）全国観光と物産展における観光PR

札幌市が主催または後援する全国約100ヶ所以上の百貨店で開催される「北海道の観光と物産展」会場の中で、ポスター掲出、パンフレット配布などを行い、観光PRを展開します。

### 海外マーケットに対する観光誘致宣伝【誘致宣伝担当】

近年、海外からわが国への来客者数は、増加する傾向にあります。現在、政府では「ビジット・ジャパン・キャンペーン」に取り組み、海外からの来客を倍増させる取り組みを進めており、今後も急速に増加していく可能性を秘めています。

本市では、台湾や香港、韓国、中国など東アジアからの来客が特に多く、最近では、経済発展の著しく、日本への団体観光旅行ビザが解禁された中国からの来客が増加傾向にあります。また近年はスキーを主目的とするオーストラリア等のオセアニア地域からの来客も増加する傾向にあります。本市では、こうした海外からの観光客をさらに誘致するために、各種のPR事業を展開しています。

#### （1）中国観光PRミッションの派遣

官民一体となったPRのためのミッションを中国に派遣し、現地エージェントやマスコミ向けにセミナーや懇談会を行い、PR展開を図っています。

## 【中国観光PRミッションの経緯】

時期	事業名	派遣箇所
平成11年10月	文化交流事業、観光プロモーション	北京市
平成12年 5月	上海マスコミ情報交換会	上海市
	日中文化観光交流使節団派遣 「ジャパン・デー」参加	北京市
平成13年 5月	中国観光セミナー開催	北京市、広州市
平成14年 5月	中国観光セミナー開催	北京市、広州市
平成15年10月	北京国際文化旅遊節参加 中国観光セミナー	北京市、広州市、上海市
平成16年9月	中国観光セミナー開催	北京市、瀋陽市、大連市

### (2) 中国キーパーソン招聘事業

札幌の魅力を中国の方々に広く紹介し、観光客誘致を目指すため、中国から、影響力の強いキーパーソンやマスコミ及び旅行企業関係者などを招聘し、取材や商談の支援を行います。

#### 【これまでの招聘事業】

時期	事業名	人数
平成12年10-11月	北京・上海マスコミ関係者招聘	30名
平成13年5月	上海市青少年友好交流代表団招聘	81名
平成13年7-8月	北京マスコミ関係者招聘	10名
平成15年2月	中国（北京・広州）マスコミ関係者招聘	14名
平成16年3月	中国（北京・大連）マスコミ・旅行企業関係者招聘	14名
平成16年12月- 平成17年1月	中国人作家及びマスメディア関係者招聘	12名

### (3) 国際旅行見本市への出展

東アジア地域で開催されている旅行見本市に出展し、札幌の魅力をPRするとともに、旅行商品の企画を促進するよう現地旅行関係企業との連携を深めます。

【平成17年度出展予定】 GIFT（広州国際旅遊展） 中国広州市

#### PRツールの制作、配布・貸出【誘致宣伝担当】

札幌の観光の魅力を視覚的にアピールしていくために、広報宣伝物を制作し、配布または貸出を行っています。

#### (1) ビデオ・DVD

本市では、現在、2種類のプロモーションビデオ（DVD）を制作しており、プロモーションの機会などに配布しているほか、国内外観光拠点（国際観光振興機構海外事務所、東京事務所、北海道観光連盟）に常備し、誘致用に活用するとともに、観光情報提供窓口である「カッコウの窓口」において、貸出を行っています。

タイトル	言語	メディア	制作年度
Air Sapporo N43	日本語	DVD	初版：平成12年度 改訂版：平成15年度

歓迎交響曲	日本語、英語、中国語 (簡体字、繁体字)、 韓国語	DVD、ビデオ	初版：平成13年度 改訂版：平成14年度 再改訂版：平成15年度
-------	---------------------------------	---------	--

(2) 写真ライブラリー

企業等が札幌の観光ガイドブックやパンフレット制作を行うにあたって、必要となる市内の観光スポット等の写真を保有しており、「カッコウの窓口」において、貸出を行っています。

(3) ポスター

札幌のイメージを視覚的に発信するために、ポスターを制作しています。現在は、「集客交流・シティPRキャンペーン」の一環として制作したポスターについて、札幌市が実施する観光PRキャンペーンなどの際に掲出するほか、旅行代理店などからの依頼に応じ、配布しています。

**観光案内所【受入推進担当】**

来札客に各種観光情報等を提供するため、市内に観光案内所を設置しています。

常設の案内所の他、観光シーズンに合わせた期間設置の案内所があります。

また、外国人来札客に対しての観光情報提供箇所としての「i案内所」(国際観光振興機構の指定による)があります。

**【観光案内所一覧】**

名称	所在地	定休日	営業時間	電話番号
カッコウの窓口 (i指定)	中央区北1西2 市役所2階	土日祝、年末年始	8:45～ 17:15	011-211-3341
さっぽろ観光案内所 札幌国際プラザ 国際情報コーナー (i指定)	中央区北5西3 ステラプレイ ス・センター1 階	年中無休	9:00～ 20:00	011-209-5020
大通公園観光案内所	中央区大通西3 丁目	10月中旬～4 月下旬(春～秋 季営業)	10:00～ 17:00 (4～5月、 8～10月) 9:00～ 18:00 (6～7月)	
定山溪観光案内所	南区定山溪温泉 東4丁目	年末年始	9:00～ 17:00	011-598-2012
札幌国際プラザ i(i指定)	中央区北1西3 札幌MNビル3 階	年末年始	9:00～ 17:30	011-211-3678

**観光ボランティア【受入推進担当】**

市民による観光ボランティアが、大通公園観光案内所(4月29日～10月10日)や、さっぽろ観光案内所、雪まつり会場の案内所で、パンフレットの配布や、観光スポットの紹介、写真撮影などの観光案内を行っています。地元住民ならではの意見が聞けるということで観光客からも好評を得ています。

6月現在登録数は226名(男70名 女156名)、平均年齢は59.7歳であり、活動は交代制となっています。



### ホームページ【受入推進担当】

札幌市の観光情報サイトとして「ようこそさっぽろ」を公開しています。

このサイトの運営は、市民・企業・大学（研究機関）・行政が集まり、運営・編集方針を考える委員会方式をとっており、交通機関等の基本情報のほか、イベントなど季節限定の情報を紹介し、毎月更新しています。日本語のほか、英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語・ドイツ語版があります。

また着地旅行者向けには、携帯電話から気軽に情報収集ができる「さっぽろフットナビ！」を公開しています。

ようこそさっぽろ <http://www.welcome.city.sapporo.jp>

さっぽろフットナビ！ <http://www.welcome.city.sapporo.jp/fnv/index.html>

（QRコード）



### 観光案内板【受入推進担当】

本市では、魅力ある観光都市の形成の一環として、札幌を訪れる人々のための観光案内板を185基設置しています。

日本語のほか、英語・中国語（簡体字）・ハンガルの4カ国語標記とし、外国人の来客にも対応しており、ユニバーサルデザインやピクトグラム（絵文字標記）の採用により利便性に配慮しています。

17年度については、既存案内板のうち、修繕の必要なものを中心に情報更新を行っています。

### 観光ガイドブック【受入推進担当】

来札客の利便性を図るため、市内の地図や観光名所などを紹介した観光ガイドブック「さっぽろ観光ガイド」を発行しています。日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ドイツ語・ロシア語・ハンガルの6カ国分を制作しています。

17年度は、日本語版50万部を、社団法人札幌観光協会が主体となり発行しました。また、英語・中国語（繁体字）・ハンガルの制作を予定しています。

### 観光貸切バス待機場【受入推進担当】

観光バスで来た観光客が街なかを見学している間、バスが路上駐車しなくて済むように、観光バス専用の待機場があり、北海道バス協会が運営しています。

〔場所〕

中央区北1条西9丁目 〔平成16年度利用台数 10,904台〕

### 各種まつりの企画実施【事業係】

#### ・さっぽろライラックまつり

ライラックの開花時期に大通公園で開催。昭和34年に第1回が開かれ平成17年で47回を迎えました。（トピックス参照）

#### ・さっぽろ夏まつり

昭和29年に夏の観光名物の新規開拓を目指し誕生。平成17年で52回を迎えます。イベントの中心となっているのがビアガーデンと盆踊りで、都市公園で4大ビールメーカーが一同にビアガーデンを開催するのは全国的にも珍しいものです。

- ・さっぽろ菊まつり  
昭和38年に菊作り愛好者が増える中、小規模な同好会活動が一本化され、全市的なスケールのイベントとして誕生。平成17年で43回を迎えます。さっぽろ地下街のオーロラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場とし、毎年数百点の菊が展示されています。
- ・さっぽろ雪まつり  
昭和25年に始まったこのまつりは、札幌を代表する世界的なイベントで、平成18年で57回を迎えます。  
総数300基を超える雪氷像が7日間にわたり市民や観光客を楽しませます。

#### 各種まつりの連絡調整【事業係】

- ・YOSAKOIソーラン祭り  
平成4年に始まったこの祭りも平成17年で14回を迎え、来場者が200万人を超える札幌の初夏を彩る一大イベントに成長しました。
- ・さっぽろホワイトイルミネーション  
昭和56年に秋の観光シーズンとさっぽろ雪まつりをつなぐイベントとして誕生。平成17年で23回を迎えます。  
会場は大通公園と駅前通りで、総数37万個もの電球が飾られ北の街の夜を幻想的に彩ります。
- ・ミュンヘンクリスマス市  
平成14年ミュンヘン市との姉妹提携30周年を記念し開催されました。会場は大通西2丁目で、ミュンヘン市に因んだ物販が行われ、札幌とミュンヘンの国際的な交流の場として市民に親しまれています。

#### 札幌国際ユースホステルの管理運営【庶務係】

低額な料金で、安全・快適な宿泊を提供する施設として札幌国際ユースホステルを設置しています。

都心から2 km圏内、地下鉄東豊線学園前駅に隣接しており、観光の拠点として便利な都市型ユースホステルです。

また、付近には道立総合体育センター「きたえる」があり、スポーツ団体等の合宿にも適しています。

#### 〔札幌国際ユースホステル〕

所在地	豊平区豊平6条6丁目5番35号
電話番号	(011) 825 - 3120
開設年月	平成12年4月
構造 / 延床面積	鉄筋コンクリート造 地下1階付4階建 / 1,967.64㎡
定員 / 利用期間	120人 / 通年
管理運営	(財)北海道ユースホステル協会に委託
宿泊料金等	宿泊3,800円(中学生以下3,300円、4歳未満無料) 冷暖房料、シーツ料、税込) 食事(朝食850円)
敷地面積	918.93㎡
(URL)	<a href="http://www.youthhostel.or.jp/kokusai/">http://www.youthhostel.or.jp/kokusai/</a>

## 4 トピックス

### 5月31日は藻岩山の日

「藻岩山の魅力をもっと高めるためにはどうしたらよいか。」平成16年10月から17年3月まで「藻岩山の魅力を考える懇談会」（座長：辻井達一北海道環境財団理事長）では、公募市民、専門家、関連事業者の計15名により、熱心な議論が行われました。その中で、藻岩山の魅力をアップするためには、ソフトメニューの充実が必要であるとの提言をいただきました。

懇談会からは数多くのソフトメニューのアイデアが寄せられましたが、その1つが「藻岩山の日」です。これは、藻岩山の標高531mにちなみ5月31日を藻岩山の日とし、これをきっかけに、市民のシンボルである藻岩山に目を向けていただくというものです。

平成17年5月31日には、第1回藻岩山の日として、札幌市、藻岩山関連企業、NPOなどの市民団体から構成される「藻岩山魅力アップ推進連絡協議会」により、ロープウェイ無料ご招待、観光ボランティアによるおもてなし「ウェルカム藻岩」、ゴミ拾いをしながら山登りを行う「藻岩山クリーンハイク」、ロープウェイの有人ガイド、写真展など様々な取り組みが行われました。

当日はロープウェイの乗車人員が5,865人と、平日にもかかわらず、ハイシーズンを超える利用があり、たくさんの方々に藻岩山を楽しんでいただきました。



### 定山溪に新しい名所、定山源泉公園オープン

平成17年8月7日、定山溪温泉街の中心に位置する月見橋のたもとに、定山溪の源泉とふれあうことのできる新たな癒しのスポットが誕生しました。

定山源泉公園は「定山溪まちづくり委員会」により策定されたアクションプログラムの一環として定山溪の開祖、美泉定山の生誕200年を記念して定山溪観光協会が設置したものです。

この公園は、定山坊が温泉を切り開いたころの森を再現し、湯と定山坊に感謝する気持ちを後世に伝えていくために造成されました。公園には湯の滝、足湯、ひざ湯、美人の湯が設置され、豊かな四季の移り変わりの中で、湯を五感で楽しむことができます。

また、平成17年7月4日には、新しい観光案内所がオープンしました。これは金融機関の空き店舗を利用し、金融機関の協力で、定山溪の景観にマッチした外観に改修されたものです。駐車場も併設されており定山溪観光の情報機能がさらに強化されました。また観光案内所には温泉博物館が併設され、定山溪の歴史を物語る貴重な写真などが展示されています。



### 札幌の初夏に新たな文化を創造「ライラックワインガーデン」

平成17年5月20日から大通公園で行われたさっぽろライラックまつりでは、新たな文化を創造する取り組みとして「ライラックワインガーデン」が開催されました。

このワインガーデンでは、大通公園の西7丁目にオープンカフェを開設し、ライラックを愛でながら北海道産のワインを楽しむという、ヨーロッパ的な雰囲気を楽しむことができるようにしたものです。期間中は多くの市民や観光客が会場を訪れ、初夏のさわやかな空のもと、北海道産のパンやチーズとともにワインを満喫していました。札幌の初夏の新しい文化の誕生です。

### モエレ沼公園グランドオープン

世界的彫刻家イサム・ノグチ氏の最後の作品であるモエレ沼公園は、「海の噴水」が完成したことにより、公園内の造成がすべて完了し、平成17年7月1日にグランドオープンしました。

この公園は、昭和63年（1988年）、公園のマスタープランを手掛けたイサム・ノグチ氏が、そのプランを完成させた直後に急逝した後、遺志を継いだイサム・ノグチ財団とともに本市が足かけ17年にわたり造成を続けてきたものです。

本市では、このモエレ沼公園の完成を機に、より多くの方々に札幌の新たな魅力としての「アート」を知っていただけるよう、同公園のグランドオープンを軸として、さまざまな記念催事を実施するとともに、国内外にむけて、札幌の新たな魅力として「アート」を発信しています。

#### グランドオープン記念行事の様子



## 第2章 観光客の入り込み状況

### 1 調査方法の変更

これまでの観光客の入り込み状況調査では平成4年度の観光客の動態調査を基にした観光客率を用いて、入り込み数を算出していましたが、昨今の観光行動と整合していない状況にあると考えられることから、平成15年度、16年度に動態調査を実施しました。観光客率の更新と以下の算出方法の変更を行っています。

新千歳空港の降客はJR、路線バス、貸切バス、乗用車などの交通機関を使って札幌に入りますので、航空機による入り込みで、新千歳空港については、降客数にタクシーなど「その他の交通機関」を利用する割合と来客率を乗じて観光客数を算出しています。

定山溪の入り込み数の算出については、JRを利用して札幌に入り、定山溪へは乗用車で入ると行ったように、数種類のパターンが想定できますので、それぞれのパターン毎の係数を用いて算出しています。

JRによる入り込みについては、動態調査を札幌駅でのみ実施しましたので、札幌駅の乗客数のみを根拠に算出しています。

### 2 平成16年度の動向

#### (1) 観光客の入り込み状況

平成16年度に札幌を訪れた観光客は、前年度の1,368万3千人に対し、1,330万2千人と、対前年度比で2.8%(38万1千人)減少しました。

#### (2) 増減の要因

夏の猛暑や過去最高の台風上陸などの天候不順のため(上期)

例年以上の大雪による旅行手控えのため(下期)

沖縄ブーム、韓国ブームが継続しているため(通年)

海外旅行の低価格化により、首都圏の観光客が海外に流れたため(通年)

国内旅行全体が落ち込んだため<sup>1</sup>(通年)

1:平成16年度主要旅行業者50社の旅行取扱状況年度総計(速報)によると、国内旅行の取扱額は、対前年度比で2.6%減少しています。一方で、海外旅行は25.3%増加しています。

#### (3) 入り込み状況の詳細

##### 道内客・道外客別入り込み状況

道内客が55.7%、道外客が44.3%で、対前年度比で割合には、ほぼ変化はありません。

##### 日帰り客・宿泊客別入り込み状況

日帰り客、宿泊客別の入り込み状況では、日帰り客が対前年度比で9.7%(72万4千人)減少した一方で、宿泊客については対前年度比で5.5%(34万3千人)増加しています。割合では、日帰り客が50.8%、宿泊客が49.2%と約半数ずつとなっています。

##### 交通機関別入り込み状況

交通機関別の入り込み状況では、乗用車による入り込みが、51.1%と全体の半数以上を占めています。

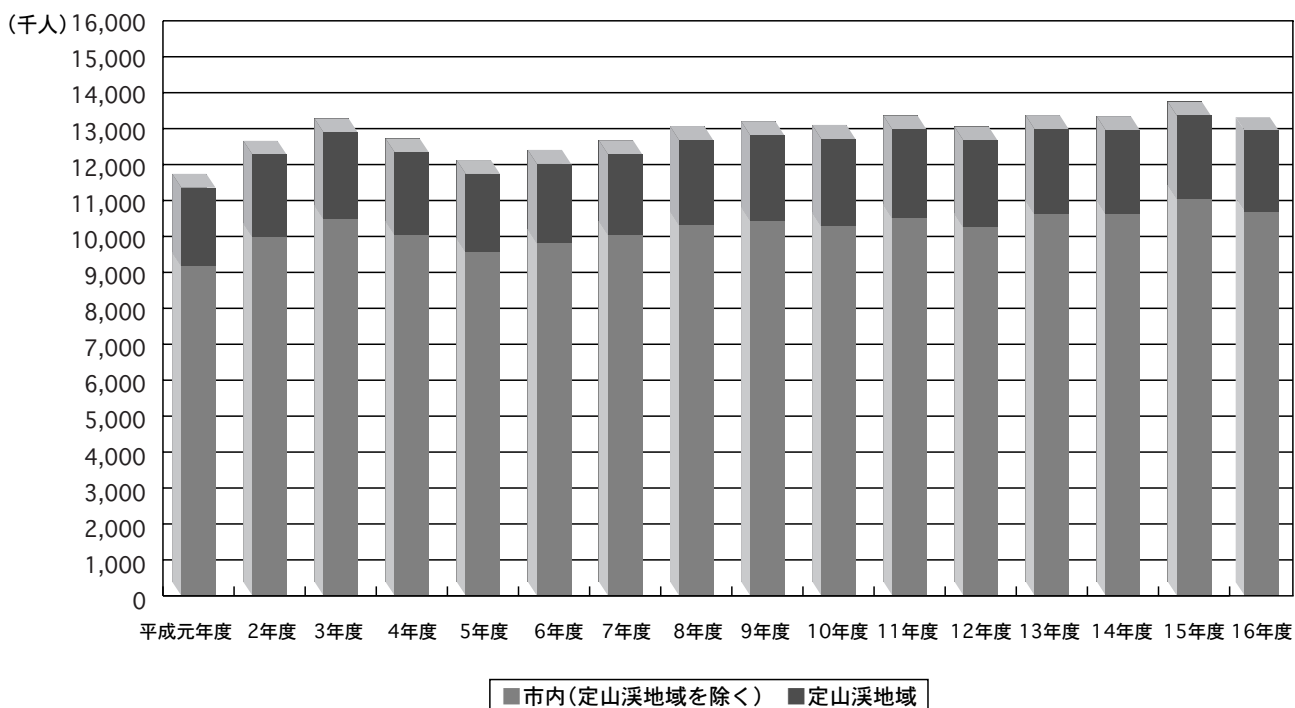
### 3 観光客の入り込み状況

#### 来札観光客数の推移

各年度中

年 度	全 市		定 山 溪 地 域	
	観光客数 (千人)	前年度比 (%)	観光客数 (千人)	前年度比 (%)
平成元年度	11,847	106.5	2,331	104.5
2年度	12,634	106.6	2,456	105.4
3年度	13,177	104.3	2,535	103.2
4年度	12,736	96.7	2,460	97.0
5年度	12,046	94.6	2,313	94.0
6年度	12,334	102.4	2,316	100.1
7年度	12,696	102.9	2,356	101.7
8年度	13,054	102.8	2,446	103.8
9年度	13,106	100.4	2,468	100.9
10年度	13,081	99.8	2,515	101.9
11年度	13,304	101.7	2,565	102.0
12年度	13,050	98.1	2,517	98.1
13年度	13,280	101.8	2,434	96.7
14年度	13,251	99.8	2,392	98.3
15年度	13,683	103.3	2,439	102.0
16年度	13,302	97.2	2,186	89.6

#### 来札観光客数の推移



(平成16年度は対前年度で減少していますが、平成15年度、11年度に次ぎ、過去3番目に多い数字となっています。)

## 月別入り込み状況

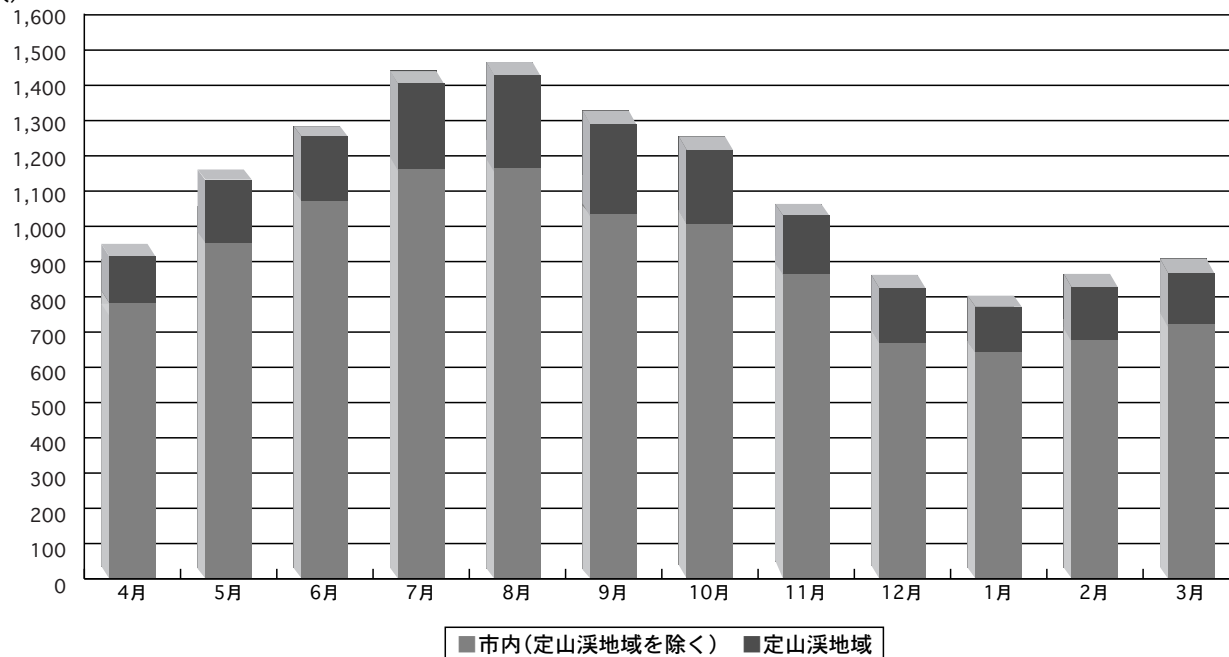
(単位：千人)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全 市													
12年度	13,050	770	1,122	1,272	1,427	1,524	1,471	1,108	799	850	876	913	918
13年度	13,280	811	1,166	1,388	1,455	1,609	1,509	1,134	788	806	824	914	876
14年度	13,251	862	1,180	1,321	1,449	1,607	1,473	1,049	782	815	837	920	956
15年度	13,683	877	1,350	1,448	1,575	1,622	1,620	1,046	758	792	818	881	896
16年度	13,302	950	1,154	1,278	1,438	1,449	1,336	1,241	1,045	854	802	848	907
前年度比(%)	97.2	108.3	85.5	88.3	91.3	89.3	82.5	118.6	137.9	107.8	98.0	96.3	101.2
う ち 定 山 溪 地 域													
12年度	2,517	142	218	242	260	313	279	249	171	146	177	164	156
13年度	2,434	150	210	235	249	292	262	259	171	139	164	177	126
14年度	2,392	155	222	244	243	295	255	218	158	135	161	163	143
15年度	2,439	148	230	246	254	294	269	219	158	144	166	161	150
16年度	2,186	143	170	218	265	266	222	199	157	135	130	137	144
前年度比(%)	89.6	96.6	73.9	88.6	104.3	90.5	82.5	90.9	99.4	93.8	78.3	85.1	96.0

## 月別入り込み状況

(千人)



(12月、1月の観光客数の落ち込みが目立ちます。)

## 4 交通機関別入り込み状況

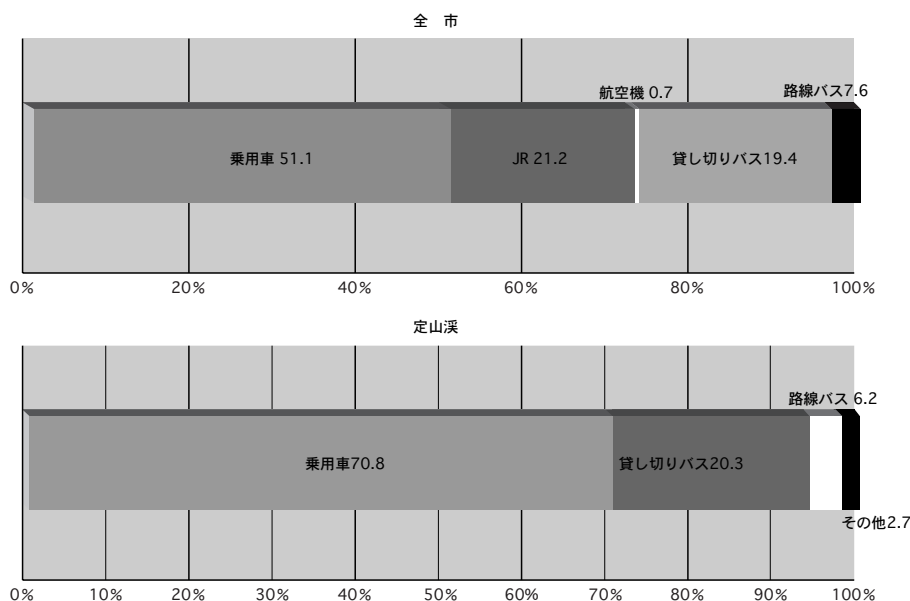
(単位：千人、%)

各年度中

年 度	全 市						定 山 溪 地 域					
	合 計	乗用車	J R	航空機	貸し切りバス	路線バス	合 計	乗用車	貸し切りバス	路線バス	その他	
観 光 客 数												
12年度	13,050	4,045	3,170	2,919	2,371	545	2,517	1,723	631	163		
13年度	13,280	3,967	3,130	3,024	2,657	502	2,434	1,624	654	156		
14年度	13,251	3,859	3,199	3,061	2,673	459	2,392	1,620	626	146		
15年度	13,683	3,878	3,242	2,925	3,162	476	2,439	1,598	640	201		
16年度	13,302	6,798	2,825	95	2,578	1,006	2,186	1,549	443	135	60	
構 成 比												
12年度	100.0	30.9	24.3	22.4	18.2	4.2	100.0	68.4	25.1	6.5		
13年度	100.0	29.9	23.6	22.7	20.0	3.8	100.0	66.7	26.9	6.4		
14年度	100.0	29.1	24.1	23.1	20.2	3.5	100.0	67.7	26.2	6.1		
15年度	100.0	28.3	23.7	21.4	23.1	3.5	100.0	65.5	26.2	8.2		
16年度	100.0	51.1	21.2	0.7	19.4	7.6	100.0	70.8	20.3	6.2	2.7	
前 年 度 比												
12年度	98.1	98.5	99.4	97.2	95.5	104.2	98.1	98.2	94.5	114.0		
13年度	101.8	98.1	98.7	103.6	112.1	92.1	96.7	94.3	103.6	95.7		
14年度	99.8	97.3	102.2	101.2	100.6	91.4	98.3	99.8	95.7	93.6		
15年度	103.3	100.5	101.3	95.6	118.3	103.7	102.0	98.6	102.2	137.7		
16年度	97.2	175.3	87.1	3.2	81.5	211.3	89.6	96.9	69.2	67.2		

注) 航空機による観光客数が極端に少ないのは、算出方法を変更したためです ( P 19参照 )。

### 交通機関別入り込み状況



( 全市では過半数、定山溪では7割以上と乗用車による入り込みが多くなっています。 )



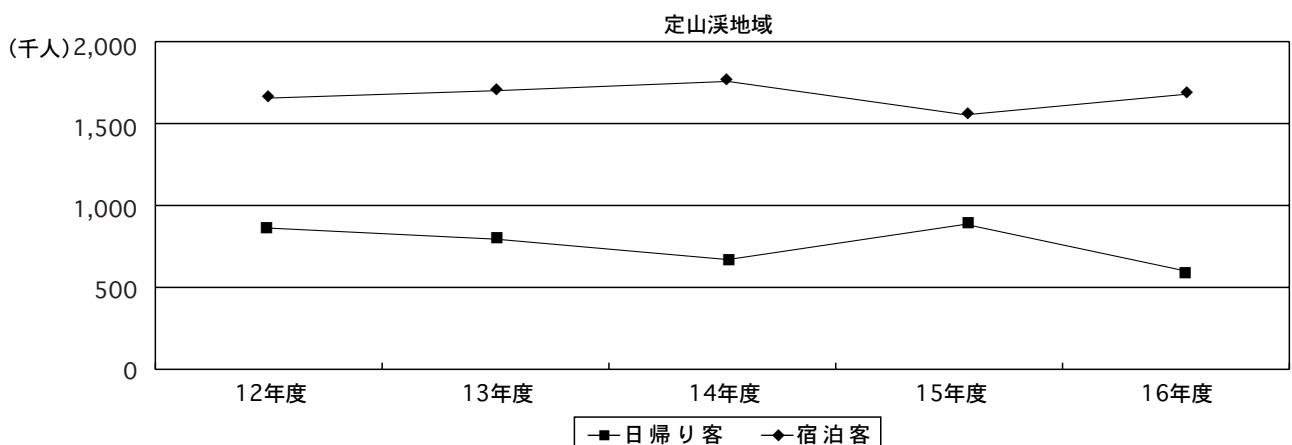
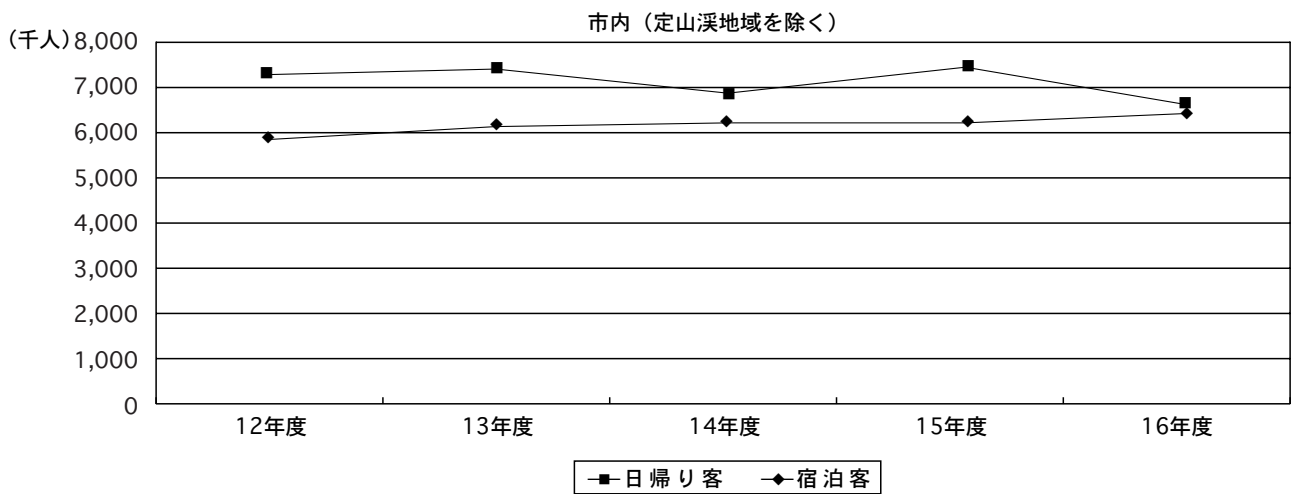
## 5 日帰り・宿泊客別入り込み状況

(単位：千人)

各年度中

年 度	観 光 客 数			構 成 比			前 年 比		
	合 計	日帰り客	宿泊客	合 計	日帰り客	宿泊客	合 計	日帰り客	宿泊客
全 市									
12年度	13,050	7,141	5,909	100.0	54.7	45.3	98.1	101.4	94.3
13年度	13,280	7,200	6,080	100.0	54.2	45.8	101.8	100.8	102.9
14年度	13,251	6,998	6,253	100.0	52.8	47.2	99.8	97.2	102.8
15年度	13,683	7,475	6,208	100.0	54.6	45.4	103.3	106.8	99.3
16年度	13,302	6,751	6,551	100.0	50.8	49.2	97.2	90.3	105.5
う ち 定 山 溪 地 域									
12年度	2,517	854	1,663	100.0	33.9	66.1	98.1	107.7	93.8
13年度	2,434	784	1,650	100.0	32.2	67.8	96.7	91.8	99.2
14年度	2,392	671	1,721	100.0	28.1	71.9	98.3	85.6	104.3
15年度	2,439	911	1,528	100.0	37.4	62.6	102.0	135.8	88.8
16年度	2,186	565	1,621	100.0	25.8	74.2	89.6	62.0	106.1

### 日帰り・宿泊客別入り込み状況



(市内、定山溪ともに宿泊客の割合が増加しています。)

## 6 道内客・道外客別入り込み状況

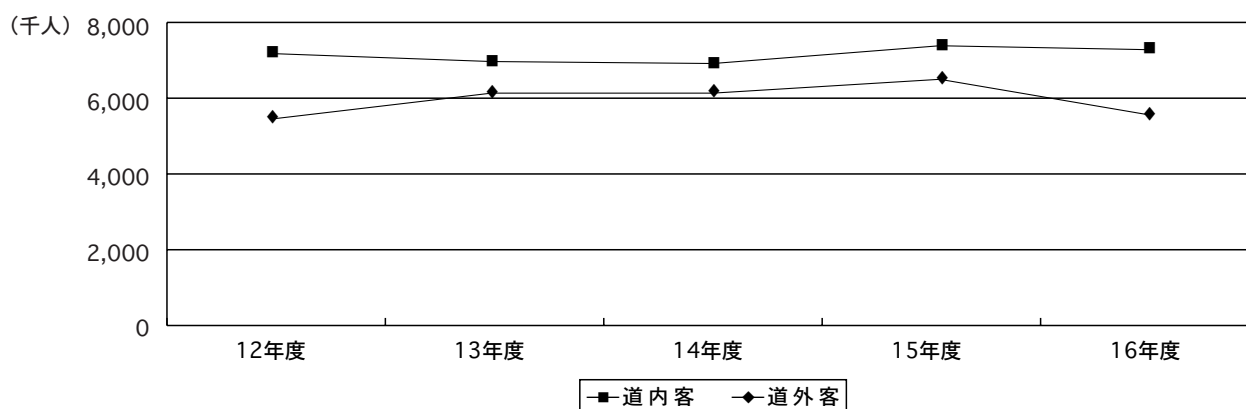
(単位：千人、%)

各年度中

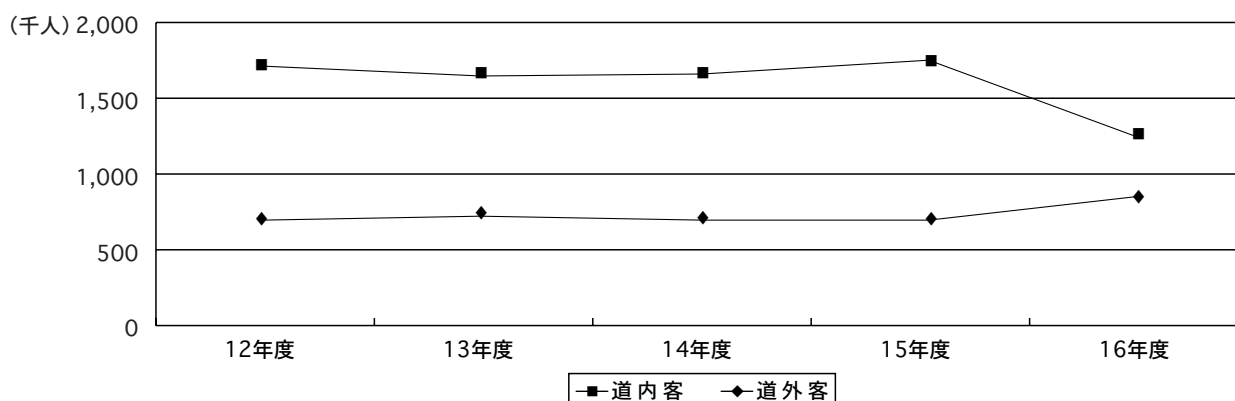
年 度	観 光 客 数			構 成 比			前 年 比		
	合 計	道内客	道外客	合 計	道内客	道外客	合 計	道内客	道外客
全 市									
12年度	13,050	7,394	5,656	100.0	56.7	43.3	98.1	99.6	96.1
13年度	13,280	7,243	6,037	100.0	54.5	45.5	101.8	98.0	106.7
14年度	13,251	7,180	6,071	100.0	54.2	45.8	99.8	99.1	100.6
15年度	13,683	7,465	6,218	100.0	54.6	45.4	103.3	104.0	102.4
16年度	13,302	7,406	5,896	100.0	55.7	44.3	97.2	99.2	94.8
う ち 定 山 溪 地 域									
12年度	2,517	1,786	731	100.0	71.0	29.0	98.1	98.6	97.1
13年度	2,434	1,683	751	100.0	69.1	30.9	96.7	94.2	102.7
14年度	2,392	1,649	743	100.0	68.9	31.1	98.3	98.0	98.9
15年度	2,439	1,711	728	100.0	70.2	29.8	102.0	103.8	98.0
16年度	2,186	1,364	822	100.0	62.4	37.6	89.6	79.7	112.9

### 道内客・道外客別入り込み状況

市内（定山溪地域を除く）



定山溪地域



(定山溪地域では、道外客が増加し、道内客が減少しています。)

## 第3章 宿泊施設

### 1 宿泊調査の概要

#### (1) 定義

すべての宿泊施設は「旅館業法」により法的規制を受けています。本書では「旅館業法」の対象施設のうち、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設を除いたものを調査対象とし、以下のとおり分類しています。

##### ア 構造や設備による分類

- (ア) ホテル 全客室の過半数を洋室が占めている施設（簡易宿所を除く）。
- (イ) 旅館 全客室の過半数を和室が占めている施設（簡易宿所を除く）。
- (ウ) 簡易宿所 カプセルホテル、ユースホステル、ペンション。

##### イ 運営形態等による分類

- (ア) 政府登録施設 「国際観光ホテル整備法」に基づいて国土交通大臣の登録を受けた宿泊施設。
- (イ) 一般施設 宿泊施設のうち、政府登録施設と公的施設を除いたもの。
- (ウ) 公的施設 公共的性格を有する宿泊施設。国・地方公共団体の出資により管理運営される宿泊施設、および各種組合員（民間企業も含む）用の保養所。

なお、本書では、利用された客室数を利用可能客室数で除して求めた客室稼働率によって、宿泊施設の利用状況を調査しています。

$$\text{客室可動率} = \frac{\text{利用された客室数}}{\text{利用可能客室数}}$$

#### (2) 調査の内容

- ア 方法 市内全宿泊施設に調査票を送付し、回答をまとめました。
- イ 時期 上期16年4月～9月と下期16年10月～17年3月の年2回
- ウ 項目 客室規模、利用者数、修学旅行生の利用状況、外国人の利用状況

#### (3) 動向

##### ア 宿泊施設の利用状況

市内ホテルの客室稼働率は、政府登録ホテルの他は増加しています。定山溪地域旅館の客室稼働率は、一般旅館のみ増加しています。

##### イ 外国人の宿泊状況

約70%増の38万1288人になりました。アジアからの旅行者が全体の9割近くを占め、台湾、中国が前年度の2倍以上に増えています。オーストラリアも前年度の2倍近く増えています。

##### ウ 修学旅行生の宿泊状況

約6%減の18万8061人になりました。発地別で見ると、関東の占める割合が、24.5%と最も多く、続いて、九州・沖縄の21.1%、近畿の14.5%、道内の12.6%の順となっています。

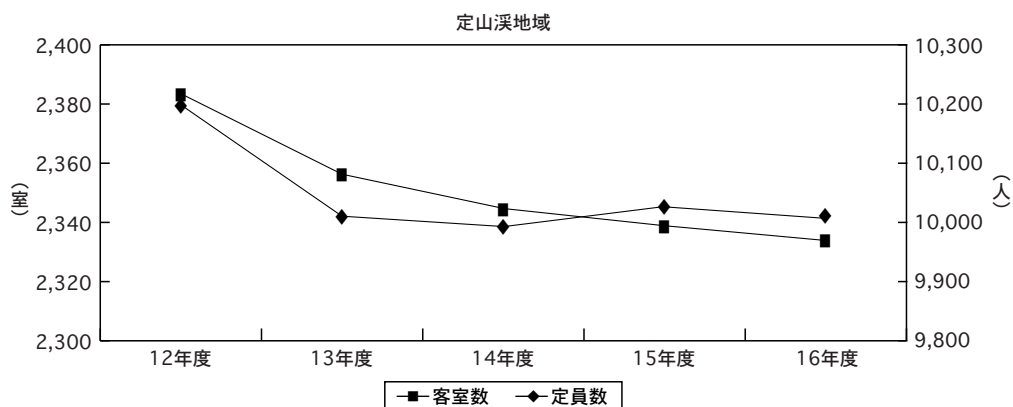
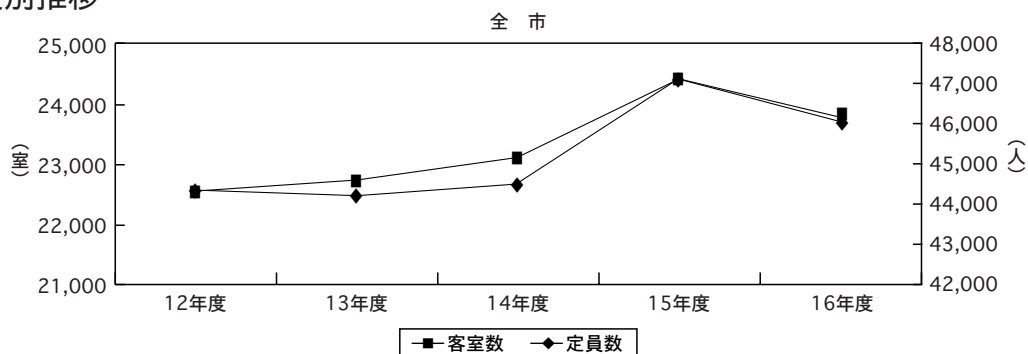
## 2 宿泊施設の状況

### 概況年度別推移

各年度末現在

年 度	合 計			ホ テ ル			旅 館			簡 易 宿 泊 所		
	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数
	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人
全 市												
12年度	206	22,474	44,300	127	18,803	31,041	68	3,008	12,009	11	663	1,250
13年度	207	22,771	44,288	127	19,151	31,253	68	2,948	11,733	12	672	1,302
14年度	208	23,117	44,544	129	19,467	31,415	65	2,959	11,810	14	691	1,319
15年度	203	24,236	46,950	128	20,641	33,866	61	2,920	11,794	14	675	1,290
16年度	204	23,689	46,070	129	20,098	33,001	61	2,915	11,772	14	676	1,297
市 内 ( 定 山 溪 地 域 を 除 く )												
12年度	167	20,087	34,087	127	18,803	31,041	29	621	1,796	11	663	1,250
13年度	168	20,416	34,297	127	19,151	31,253	29	593	1,742	12	672	1,302
14年度	174	20,779	34,590	129	19,467	31,415	31	621	1,856	14	691	1,319
15年度	169	21,898	36,902	128	20,641	33,866	27	582	1,746	14	675	1,290
16年度	170	21,356	36,042	129	20,098	33,001	27	582	1,744	14	676	1,297
う ち 定 山 溪 地 域												
12年度	39	2,387	10,213	-	-	-	39	2,387	10,213	-	-	-
13年度	39	2,355	9,991	-	-	-	39	2,355	9,991	-	-	-
14年度	34	2,338	9,954	-	-	-	34	2,338	9,954	-	-	-
15年度	34	2,338	10,048	-	-	-	34	2,338	10,048	-	-	-
16年度	34	2,333	10,028	-	-	-	34	2,333	10,028	-	-	-

### 概況年度別推移



( 客室数は全市、定山溪地域ともに減少傾向にあります。 )

## 概況年度別

平成17年3月31日現在

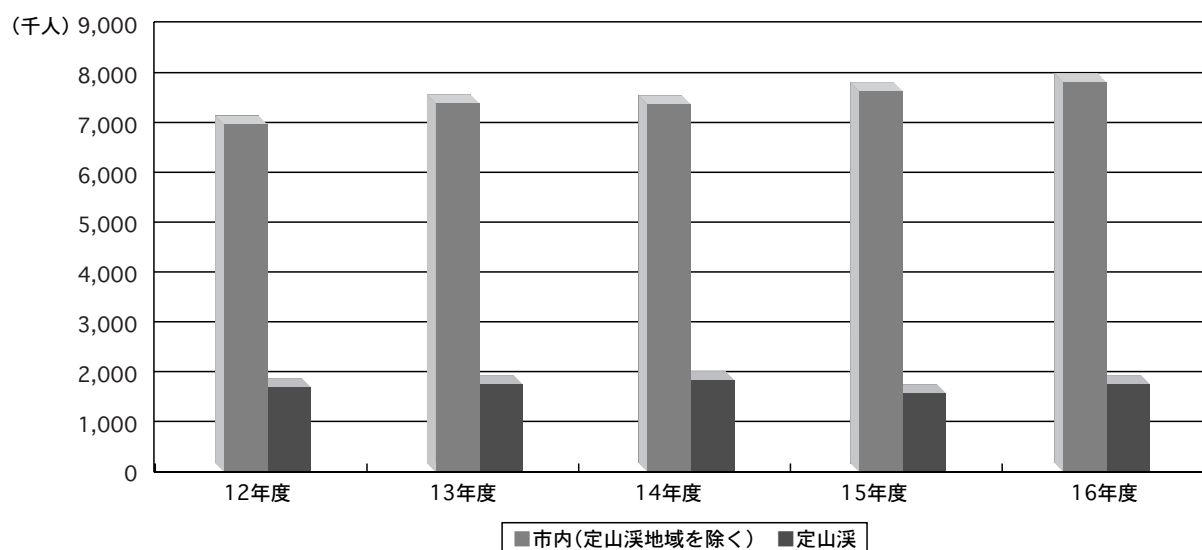
年 度	合 計			政 府 登 録 施 設			一 般 施 設			公 的 施 設		
	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数
	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人
全 市												
合 計	204	23,689	46,070	36	8,250	19,634	128	13,670	22,601	40	1,769	3,835
ホテル	129	20,098	33,001	25	6,258	10,998	88	12,500	19,795	16	1,340	2,208
旅館	61	2,915	11,772	11	1,992	8,636	29	631	1,962	21	292	1,174
簡易宿泊所	14	676	1,297	-	-	-	11	539	844	3	137	453
市 内 ( 定 山 溪 地 域 を 除 く )												
合 計	169	21,898	36,902	27	6,863	11,921	119	13,503	22,065	23	1,532	2,916
ホテル	128	20,641	33,866	26	6,815	11,771	86	12,485	19,885	16	1,341	2,210
旅館	27	582	1,746	1	48	150	22	480	1,343	4	54	253
簡易宿泊所	14	675	1,290	-	-	-	11	538	837	3	137	453
う ち 定 山 溪 地 域												
合 計	34	2,333	10,038	10	1,944	8,486	7	151	629	17	238	923
ホテル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旅館	34	2,333	10,028	10	1,944	8,486	7	151	619	17	238	923
簡易宿泊所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 3 宿泊施設利用状況

## 宿泊施設利用者数の推移

年 度	全 市		前年度比	市 内 ( 定 山 溪 地 域 を 除 く )		う ち 定 山 溪 地 域
	千人	%		千人	千人	
12年度	8,889	94.4		7,077	1,812	
13年度	9,331	105.0		7,438	1,893	
14年度	9,478	101.6		7,550	1,928	
15年度	9,477	100.0		7,767	1,710	
16年度	9,946	104.9		7,977	1,969	

## 宿泊施設利用者数の推移



(平成12年度以降、市内宿泊者数は増加傾向にあります。定山溪の宿泊者数も平成16年度については増加しています。)

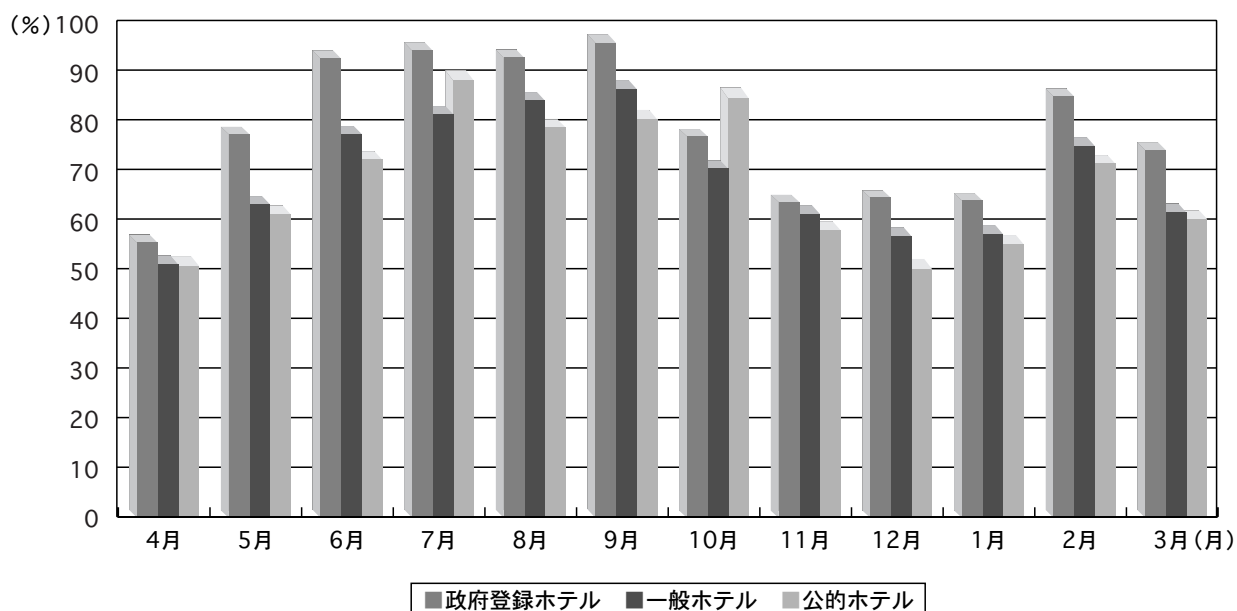
## 市内ホテルの客室稼働率

(単位：%)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政 府 登 録 ホ テ ル													
12年度	77.0	51.3	67.9	81.3	87.8	84.7	95.6	81.1	72.1	70.6	68.1	85.8	77.8
13年度	77.5	57.2	75.4	85.6	84.3	84.9	92.3	77.9	69.6	72.9	67.7	86.9	75.0
14年度	73.1	56.8	71.9	79.1	84.0	84.0	88.2	72.3	61.8	64.2	63.1	80.8	71.3
15年度	80.0	57.7	82.7	90.3	90.1	91.7	89.9	84.6	70.9	70.7	69.4	86.5	75.7
16年度	79.0	56.4	77.8	92.8	95.0	93.6	97.5	79.2	63.9	66.8	66.3	84.7	73.2
一 般 ホ テ ル													
12年度	63.7	39.1	53.0	71.0	75.2	78.6	79.6	69.5	60.1	55.3	53.0	74.8	57.2
13年度	64.4	42.9	55.9	71.5	73.3	76.2	81.0	63.4	57.2	59.6	55.7	77.1	58.8
14年度	63.2	46.3	54.3	68.3	72.8	78.0	77.8	67.3	55.1	55.4	53.1	73.0	58.1
15年度	64.3	45.2	61.3	78.1	79.0	79.1	78.7	67.9	56.3	52.0	50.0	68.2	56.1
16年度	69.7	51.6	63.1	78.4	81.7	84.7	87.6	71.1	62.2	58.8	58.1	75.4	63.1
公 的 ホ テ ル													
12年度	65.1	42.7	58.9	76.6	86.1	84.6	82.8	65.6	60.2	45.1	49.1	70.4	57.7
13年度	66.5	43.6	60.4	76.9	83.9	84.9	83.5	69.5	61.0	51.5	55.2	74.1	58.0
14年度	65.7	50.2	63.2	77.5	85.0	86.9	84.0	64.3	56.2	44.8	50.2	71.8	55.4
15年度	59.2	41.8	55.8	68.9	69.3	82.1	68.4	61.1	52.6	40.0	47.2	66.5	57.5
16年度	68.8	51.0	62.8	72.3	89.9	80.3	81.7	86.2	59.3	51.0	57.3	72.2	61.7

## 市内ホテルの客室稼働率



(政府登録ホテル、一般ホテル、公的ホテルとも、4月、11月～1月の客室稼働率は低くなっていますが、6月～9月及び「さっぽろ雪まつり」が開催される2月には、高くなっています。)

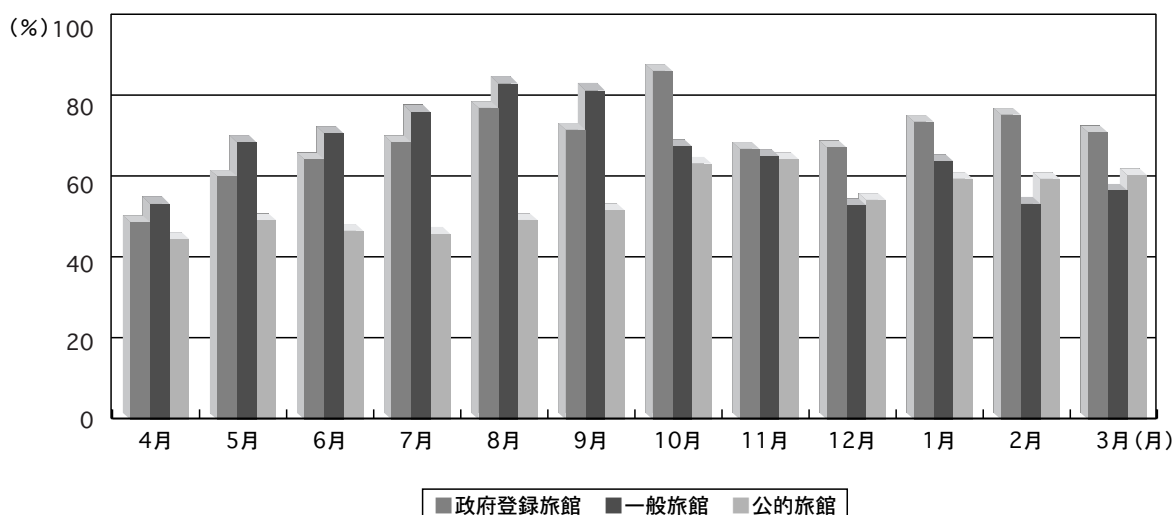
## 定山溪地域旅館の客室稼働率

(単位：%)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政 府 登 録 旅 館													
12年度	70.7	53.8	59.5	62.7	75.3	84.3	79.4	84.2	69.9	64.9	74.7	74.0	66.7
13年度	74.5	50.6	62.1	64.3	68.9	79.5	81.4	87.4	78.2	77.9	82.1	86.3	76.5
14年度	78.6	63.1	72.7	79.8	80.7	88.9	87.2	89.5	76.2	72.7	78.8	78.8	75.7
15年度	71.7	49.1	65.6	70.8	80.2	93.0	87.8	78.4	65.9	60.1	67.4	73.4	69.4
16年度	71.2	51.1	61.6	66.2	70.1	79.0	73.8	87.7	69.0	69.2	75.8	77.3	73.6
一 般 旅 館													
12年度	47.7	22.3	24.5	25.7	63.7	24.1	39.8	64.7	52.5	42.1	65.6	62.1	66.3
13年度	54.6	48.3	65.6	53.4	52.7	62.2	70.0	60.4	45.0	35.9	51.1	53.2	34.9
14年度	46.7	30.5	48.0	69.4	49.3	49.0	55.9	49.5	46.2	50.1	33.8	33.2	45.6
15年度	34.0	7.5	17.2	15.7	24.3	21.1	31.2	60.1	48.1	36.0	59.0	49.6	39.3
16年度	68.1	56.0	72.1	75.6	78.0	84.0	82.3	69.3	66.5	54.3	65.6	54.6	58.8
公 的 旅 館													
12年度	51.0	40.6	46.5	49.9	46.5	51.0	49.7	62.4	57.9	46.9	58.2	53.9	52.9
13年度	53.3	44.8	46.4	46.6	40.5	49.6	51.5	67.5	62.3	50.2	59.7	58.7	56.8
14年度	60.7	48.0	50.9	53.3	48.9	54.1	52.7	75.7	73.1	61.4	68.4	71.4	71.3
15年度	68.4	44.3	49.8	50.7	48.3	50.3	51.8	92.5	91.2	79.1	87.7	93.5	82.4
16年度	55.7	45.6	52.6	49.0	47.0	52.7	53.4	66.0	65.0	54.9	60.6	60.7	61.0

## 定山溪地域旅館の客室稼働率



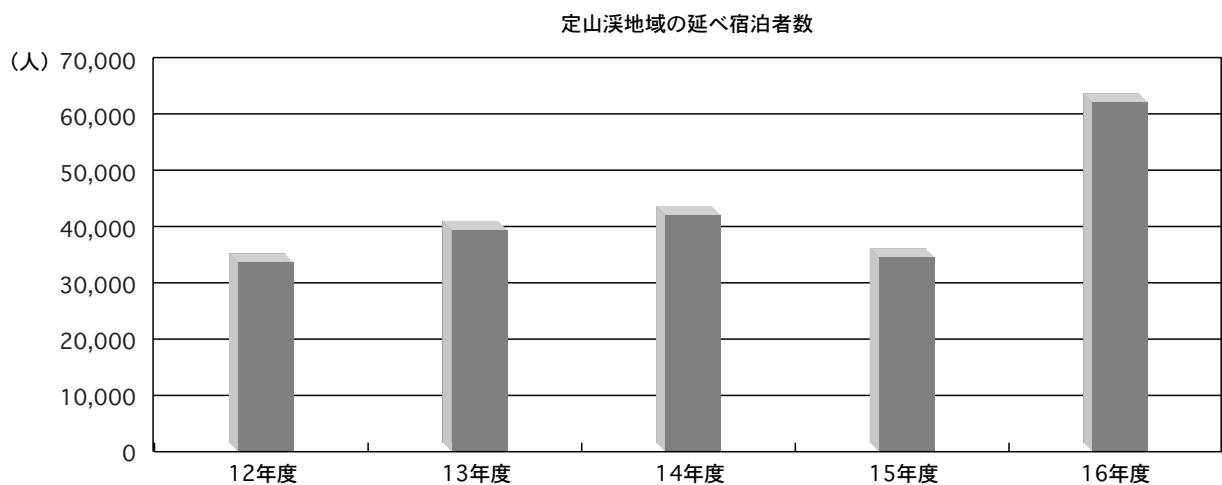
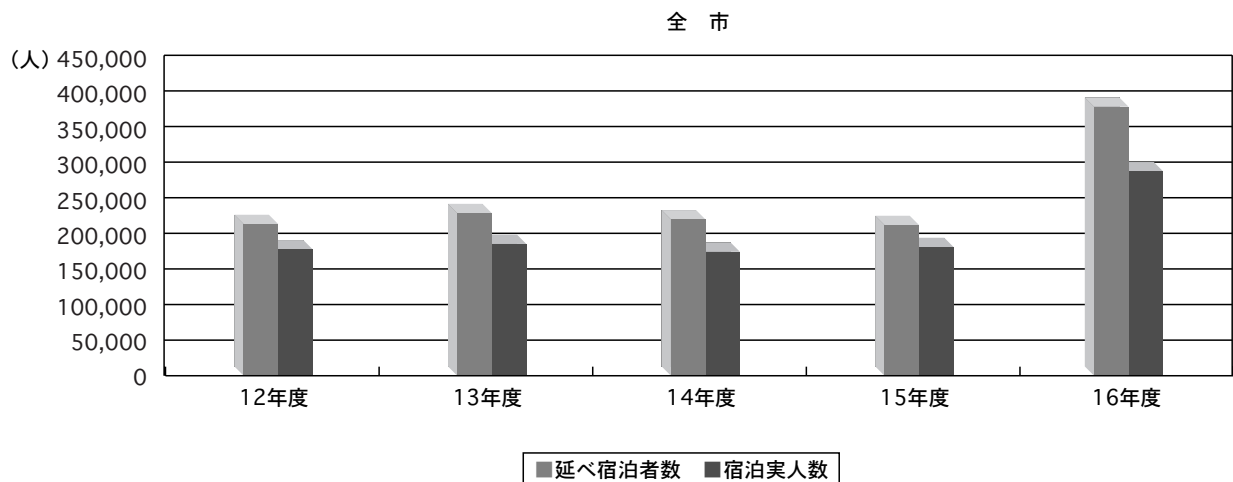
(政府登録旅館及び公的旅館については、観楓会シーズンの10月が最も客室稼働率が高くなっています。一般旅館については、観光のトップシーズンである8月が最も稼働率が高くなっています。)

## 4 外国人の宿泊状況

### 外国人の宿泊年度別推移

区 分	延 べ 宿 泊 者 数				全市宿泊 実人数	全市平均 宿泊日数
	全 市	前年度比	市内(定山溪 地域を除く)	定山溪地域		
	人	%	人	人	人	日
12年度	223,046	110.6	186,917	36,129	180,069	1.2
13年度	241,948	108.5	201,282	40,666	199,453	1.2
14年度	232,072	95.9	188,693	43,379	187,911	1.2
15年度	222,425	95.8	185,523	36,902	195,086	1.1
16年度	381,288	171.4	318,114	63,174	302,604	1.3

### 外国人の宿泊年度別推移



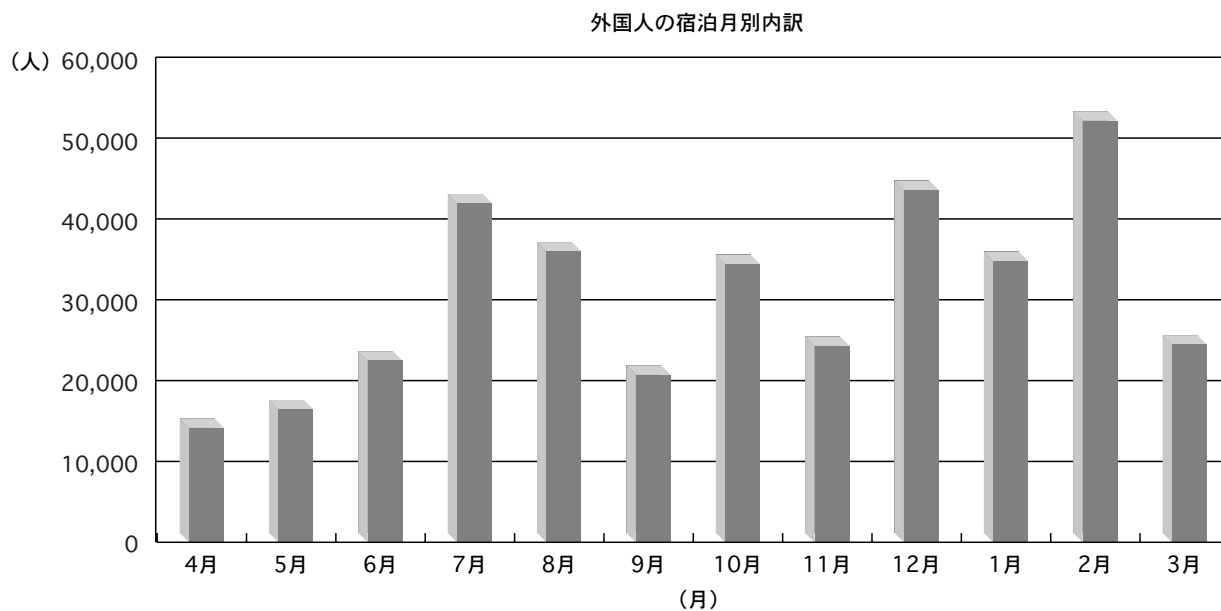
( 16年度の延べ宿泊者数については、全市及び定山溪地域ともに、前年度の1.7倍と大きく増加しています。 )



## 外国人の宿泊月別内訳

月次	全市			市内(定山溪地域を除く)	定山溪地域
	人	前年度比 %	構成比 人		
合計	381,288	171.4	100.0	318,114	63,174
平成16年4月	14,949	277.4	3.9	13,870	1,079
5月	17,928	275.4	4.7	16,045	1,883
6月	23,809	217.4	6.2	20,564	3,245
7月	42,841	100.6	11.2	33,963	8,878
8月	37,203	101.8	9.8	28,947	8,256
9月	21,461	96.0	5.6	16,291	5,170
10月	36,796	184.8	9.7	30,013	6,783
11月	26,280	221.3	6.9	22,421	3,859
12月	44,792	219.7	11.7	39,189	5,603
平成17年1月	36,308	164.3	9.5	31,536	4,772
2月	53,861	337.4	14.1	43,689	10,172
3月	25,060	318.9	6.6	21,586	3,474

## 外国人の宿泊月別内訳



(12月や2月など、冬季の延べ宿泊者数が多くなっています。2月及び3月がともに前年度の3倍以上に増加しています。)

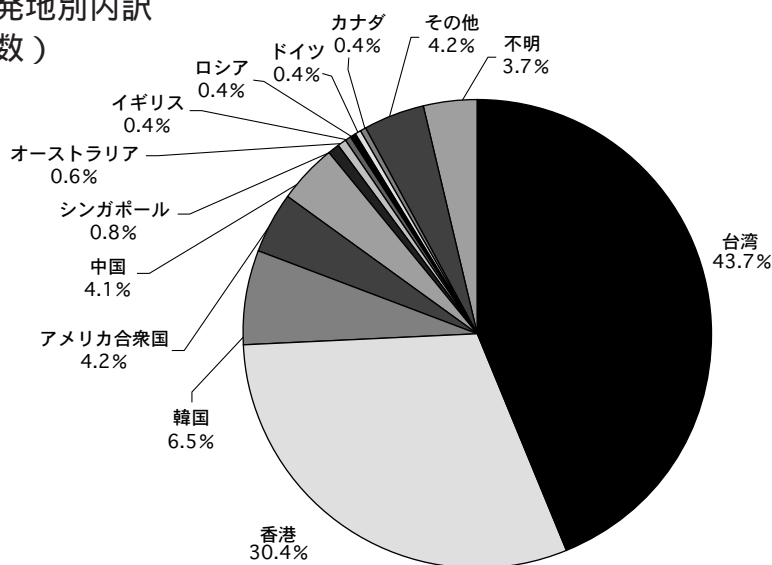
## 外国人の宿泊発地別内訳

(単位：人・%)

州名、国・地域名	延べ宿泊者数	宿泊実人数	平均宿泊日数	構成比	前年度比
合計	381,288	302,604	1.3	100.0%	171.4%
(州別)					
アジア	332,086	278,582	1.2	87.1%	194.3%
北米	17,583	8,158	2.2	4.6%	110.5%
ヨーロッパ	13,259	6,509	2.0	3.5%	109.2%
オセアニア	3,112	1,852	1.7	0.8%	196.1%
中南米	686	313	2.2	0.2%	135.8%
アフリカ	270	100	2.7	0.1%	180.0%
不明	14,292	7,090	2.0	3.7%	67.5%
(国・地域別)					
台湾	166,626	149,467	1.1	43.7%	251.7%
香港	116,024	93,416	1.2	30.4%	171.6%
韓国	24,923	18,908	1.3	6.5%	112.5%
アメリカ合衆国	16,121	7,360	2.2	4.2%	109.6%
中国	15,791	10,645	1.5	4.1%	231.1%
シンガポール	3,109	2,466	1.3	0.8%	85.2%
オーストラリア	2,219	1,231	1.8	0.6%	191.3%
イギリス	1,634	922	1.8	0.4%	109.2%
ロシア	1,614	781	2.1	0.4%	59.0%
ドイツ	1,521	901	1.7	0.4%	102.6%
カナダ	1,462	798	1.8	0.4%	121.6%
その他	15,952	8,619	1.9	4.2%	102.0%
不明	14,292	7,090	2.0	3.7%	67.5%

## 外国人の宿泊発地別内訳

(延べ宿泊者数)



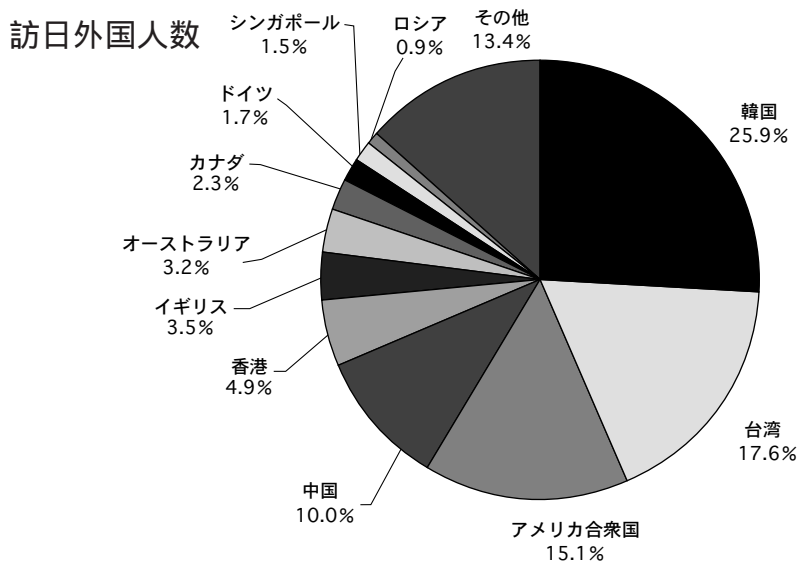
(台湾、中国及びオーストラリアが、前年度の2倍前後と大きく増加しています。平均宿泊日数については台湾、香港等のアジア地域は短く、アメリカ、カナダ、イギリスなどの北米、ヨーロッパ地域が長くなっています。)

訪日外国人数

平成16年度中

州名、国・地域名	延べ宿泊者数		構成比	平成15年	前年度比
	人	うち、観光客			
合計	6,137,905	3,839,661	100.0	5,211,725	117.8
(州別)					
アジア	4,208,095	2,726,855	68.6	3,511,513	119.8
ヨーロッパ	726,525	365,384	11.8	648,495	112.0
アフリカ	19,520	5,419	0.3	19,015	102.7
北アメリカ	923,836	561,549	15.1	798,358	115.7
南アメリカ	27,238	14,162	0.4	25,987	104.8
オセアニア	231,877	165,953	3.8	206,994	112.0
無国籍・その他	814	339	0.01	1,363	59.7
韓国	1,588,472	1,037,483	25.9	1,459,333	108.8
台湾	1,080,590	962,168	17.6	785,379	137.6
アメリカ合衆国	923,836	561,549	15.1	655,821	140.9
中国	616,009	189,692	10.0	448,782	137.3
香港	300,246	271,492	4.9	260,214	115.4
イギリス	215,704	122,947	3.5	200,543	107.6
オーストラリア	194,276	143,988	3.2	172,134	112.9
カナダ	142,091	102,058	2.3	126,065	112.7
ドイツ	106,297	44,470	1.7	93,571	113.6
シンガポール	90,001	62,930	1.5	76,896	117.0
ロシア	56,554	27,206	0.9	44,512	127.1
その他	823,829	399,293	13.4	872,299	94.4

注)一次上陸を含む。  
資料「国際観光振興会(JNTO)資料」



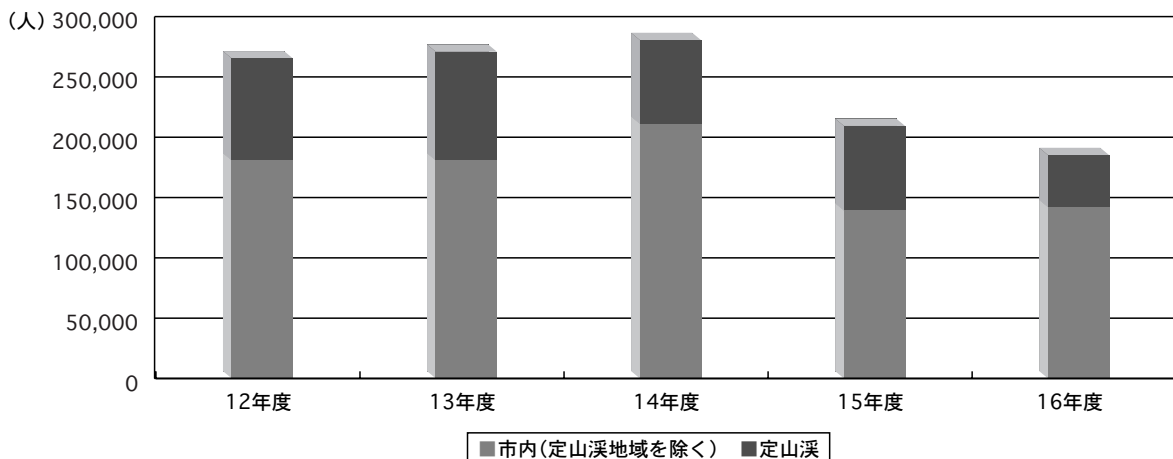
(日本全体では、韓国が全体の4分の1以上を占め、首位となっています。台湾、アメリカ、中国が前年度の1.4倍前後となっています。)

## 5 修学旅行生の宿泊状況

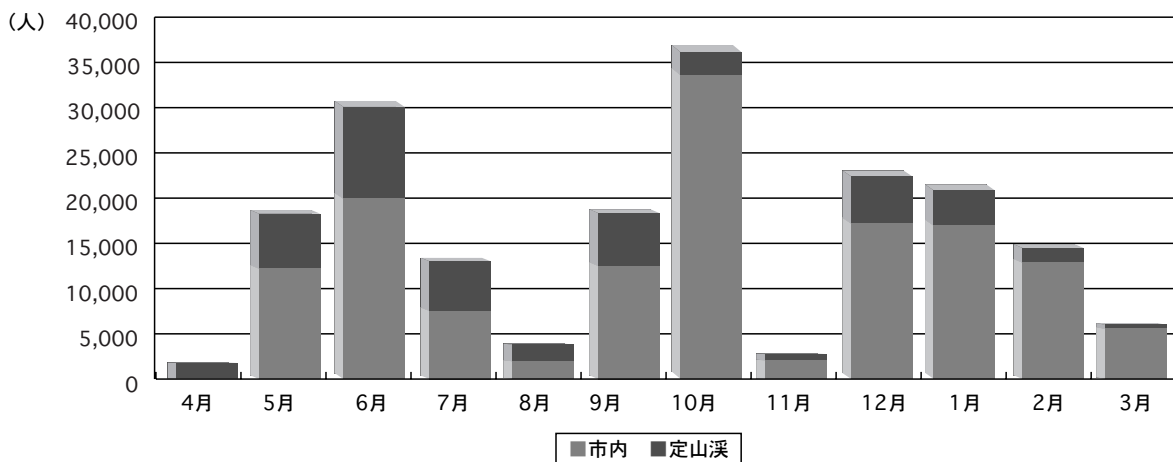
### 修学旅行生の宿泊月別内訳

区 分	全 市		市内（定山溪地域を除く）		定山溪地域	
	学校数	宿泊延べ人数	学校数	宿泊延べ人数	学校数	宿泊延べ人数
	校	人	校	人	校	人
12年度	1,559	280,083	1,111	188,541	448	91,542
13年度	1,585	283,493	1,217	208,701	368	74,792
14年度	1,274	212,848	876	140,949	398	71,899
15年度	1,265	200,361	911	144,629	354	55,732
16年度	1,157	188,061	888	148,227	269	39,834
平成16年4月	10	1,441	5	371	5	1,070
5月	192	18,147	140	13,341	52	4,806
6月	229	30,243	146	20,396	83	9,847
7月	93	12,862	67	8,838	26	4,024
8月	51	3,693	31	1,671	20	2,022
9月	166	18,216	118	12,432	48	5,784
10月	169	35,322	160	33,621	9	1,701
11月	13	2,285	11	2,219	2	66
12月	81	23,073	72	18,407	9	4,666
平成17年1月	72	21,534	65	17,233	7	4,301
2月	52	15,132	46	13,791	6	1,341
3月	29	6,113	27	5,907	2	206

### 修学旅行生宿泊延べ人数年度別推移



### 修学旅行生宿泊延べ人数月別推移



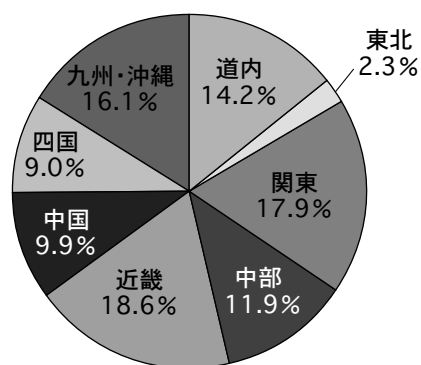
(月別推移では、6月と10月が多くなっています。)

## 修学旅行生の宿泊発地別内訳

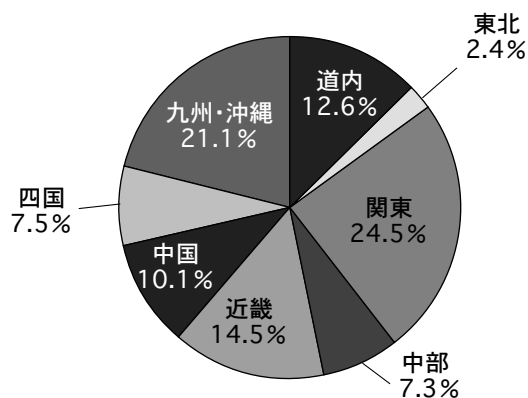
区 分	全 市			市内(定山溪地域を除く)		定山溪地域	
	学校数	宿泊延べ人数		学校数	宿泊延べ人数	学校数	宿泊延べ人数
			構成比				
合 計	校 1,157	人 188,061	% 100.0	校 888	人 148,227	校 269	人 39,834
道 内	383	23,660	12.6	235	13,223	148	10,437
東 北	38	4,530	2.4	31	3,511	7	1,019
関 東	220	46,131	24.5	170	35,853	50	10,278
中 部	86	13,761	7.3	79	12,908	7	853
近 畿	118	27,156	14.5	84	18,516	34	8,640
中 国	117	19,017	10.1	112	17,857	5	1,160
四 国	82	13,956	7.5	79	13,303	3	653
九州・沖縄	113	39,850	21.1	98	33,056	15	6,794
不 明	0	0	0.0	0	0	0	0

## 修学旅行生の宿泊発地別内訳（グラフ）

（平成15年度）



（平成16年度）



（15年度は近畿が首位でしたが、16年度は関東が首位となり、全体の4分の1近くを占めています。）

## 第4章 イベントとコンベンション

### 1 札幌でのイベント開催状況

#### (1) さっぽろ雪まつり

昭和25年、市内の中高校生たちが大通公園西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は5万人を数え、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しみました。



回を重ねるごとにその規模は拡大し、第6回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

なお、平成16年度をもって40年以上にわたって市民や観光客を楽しませてきた真駒内会場は閉鎖となりました。現在、その代替会場につきまして、市民フォーラムやワークショップを開催しながら検討を進めています。

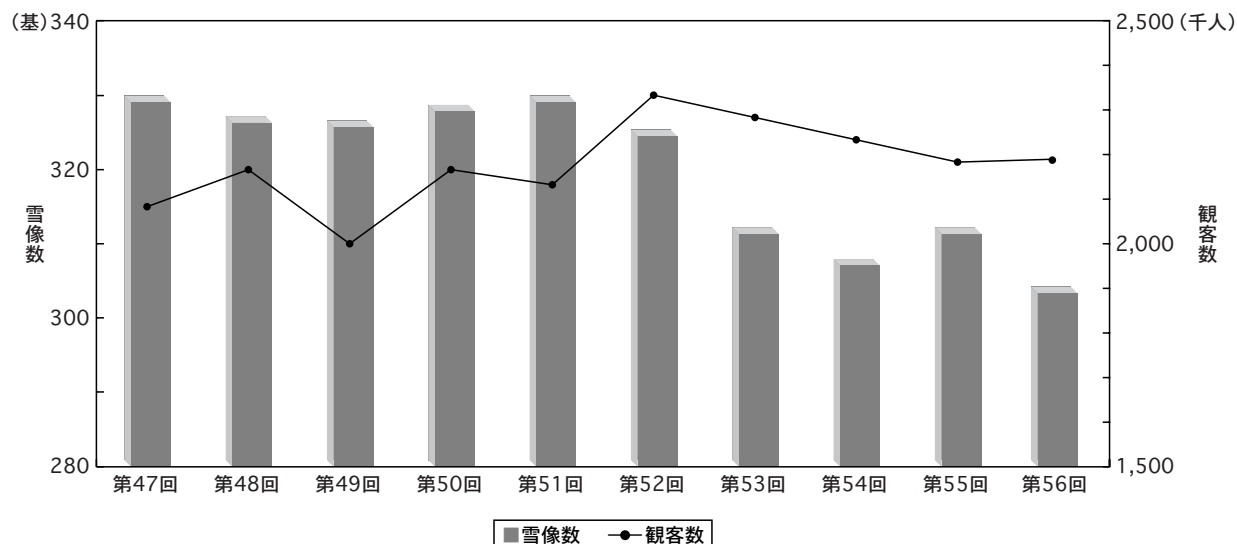
( URL ) <http://www.snowfes.com/>

#### 第56回さっぽろ雪まつりの開催概要

期 間	平成17年2月7日(月)~13日(日)〔7日間〕	
会 場	大通会場	大通西1~12丁目
	真駒内会場	陸上自衛隊真駒内駐屯地
	すすきの会場	駅前通(南4~7条)
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉開放・事前開放(真駒内 2月6日)</li> <li>・開会式(真駒内 2月7日)</li> <li>・国際雪像コンクール 14チーム(大通西11丁目)</li> <li>・市民雪像(大通 小雪像146基、中雪像3基、バーチャル雪まつり雪像1基)</li> <li>・夜間開放「雪と光と花火の饗宴」(真駒内 2月11日)</li> <li>・真駒内会場ファイナルステージイベント「ありがとう真駒内」(真駒内 2月13日)</li> <li>・ステージイベント(各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施)</li> </ul>	
雪氷像数	304基(大雪像9基、中雪像7基、大氷像2基、その他小雪氷像)	
雪輸送量	5tトラックで約6,000台	1月7日開始

## 観客数、雪氷像数の推移（過去10年）

	第47回 (平成8年)	第48回 (平成9年)	第49回 (平成10年)	第50回 (平成11年)	第51回 (平成12年)	第52回 (平成13年)	第53回 (平成14年)	第54回 (平成15年)	第55回 (平成16年)	第56回 (平成17年)
雪像数(基)	330	327	326	328	330	325	312	308	311	304
観客数 (千人)	2,044	2,174	2,007	2,201	2,168	2,344	2,297	2,233	2,179	2,191



### (2) YOSAKOIソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。

よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOIソーラン祭り」の誕生です。

鳴子を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内に展開する各会場で腕を競い合います。

平成10年開催の第7回から、祭りの急速な規模拡大に対応するため、学生中心の実行委員会に代わって、経済界や本市などが加わり組織委員会が結成され、運営・管理体制の強化が図られました。

本市の新しいタイプの祭りとして、広く市民の共感を得ています。



「YOSAKOIソ - ラン祭り組織委員会提供」

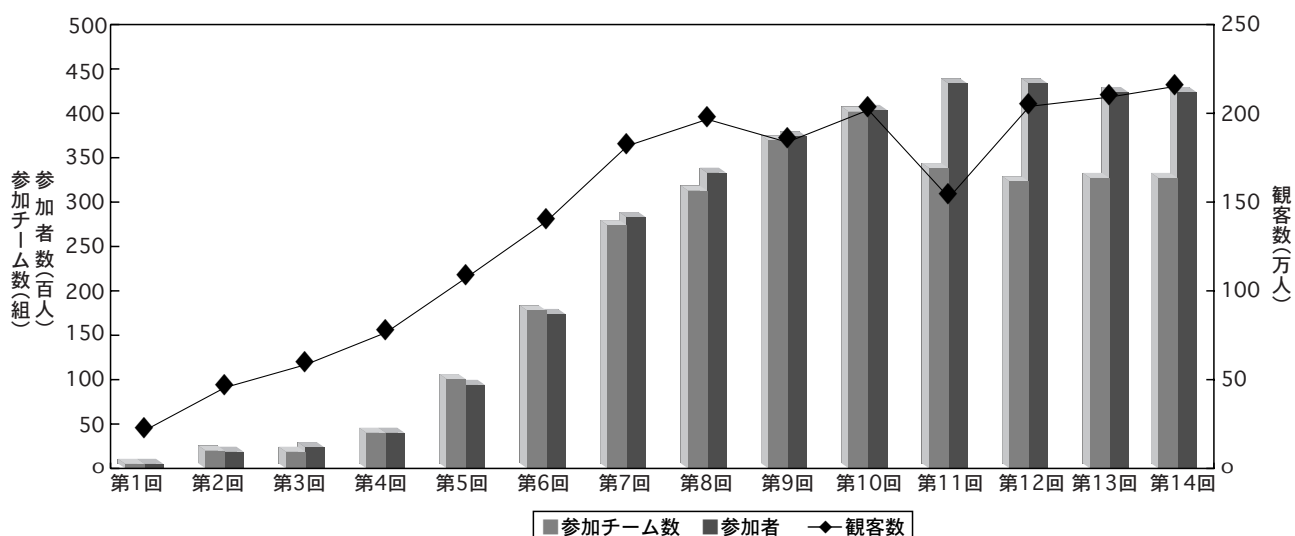
( URL ) <http://www.yosanet.com/>

### 第13・14回YOSAKOIソーラン祭りの開催概要

	第13回（平成16年度）	第14回（平成17年度）
期 間	平成16年6月9日(水)～13日(日)	平成17年6月8日(水)～12日(日)
会 場	大通公園を始めとする市内25会場	
参 加 者	延べ43,000人 333チーム	延べ43,000人 334チーム
うち市内	90チーム	93チーム
道内	154チーム	137チーム
その他	89チーム	90チーム
観 客 数	208万人	214万人
経 済 効 果	220億450万円	230億7,900万円

### 観客数、参加チーム数、参加者数の推移

	第1回 (4年度)	第2回 (5年度)	第3回 (6年度)	第4回 (7年度)	第5回 (8年度)	第6回 (9年度)	第7回 (10年度)	第8回 (11年度)	第9回 (12年度)	第10回 (13年度)	第11回 (14年度)	第12回 (15年度)	第13回 (16年度)	第14回 (17年度)
参加チーム数	10	26	25	48	108	183	280	333	375	408	344	330	333	334
参加者(百人)	10	25	30	48	100	180	290	340	380	410	440	440	430	430
観客数(万人)	20	44	58	76	107	138	180	194	183	201	151	202	208	214



### (3) さっぽろ夏まつり

昭和29年、夏の観光名物の新規開拓を目指して、それまで市内の各団体・地域がそれぞれ独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

現在、この祭りは毎年7・8月に1ヵ月間連続して開催され、大通会場をはじめ狸・すすきの・かっぱの3祭りとは各団体、各地域の催しものから構成されています。そしてこのイベントの中心となっているのがビアガーデンと盆踊りです。祭りの前半には、メイン会場の「大通納涼ガーデン」に色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客の





のどを潤します。

後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていきます。

また、17年度から、後半の新規催事である「フードスクエア」を実施します。

( URL ) <http://www.sweb.co.jp/kanko/natsu/>

第51回さっぽろ夏まつりの開催概要

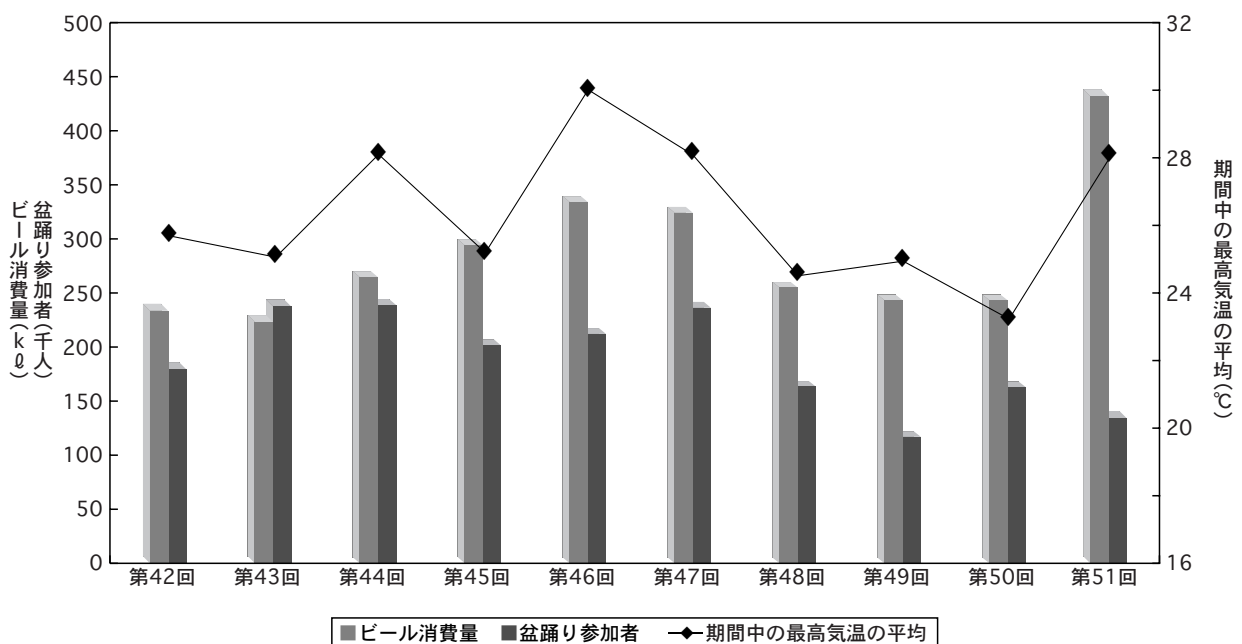
期 間 平成16年7月21日（水）～8月20日（金）〔31日間〕

行事等

	行事・会場	日 程
大 通	福祉協賛大通納涼ガーデン (西2、5～8、10丁目)	7月21日～8月10日
	北海盆踊り大会(西8丁目)	8月14日～20日
	「ザ・パレード」(西5～8丁目路上)	8月20日
	さっぽろバザール(西7丁目)	8月14日～20日
狸 小 路	第51回狸まつり	7月21日～8月20日
すすきの	第40回すすきの祭り	8月5日～7日
定 山 溪	第40回定山溪かっぱまつり	8月5・6日

ビール消費量および盆踊り参加者数の推移（過去10年）

	第42回 (平成7年)	第43回 (平成8年)	第44回 (平成9年)	第45回 (平成10年)	第46回 (平成11年)	第47回 (平成12年)	第48回 (平成13年)	第49回 (平成14年)	第50回 (平成15年)	第51回 (平成16年)
ビール消費量(kℓ)	233	212	255	276	328	314	266	256	256	442
盆踊り参加者(千人)	180	227	230	190	210	230	172	127	173	149
期間中の最高気温の平均(℃)	25.8	24.9	28.1	25.3	30.3	28.1	24.5	25.1	23.3	28.2



#### (4) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。昭和34年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで始まり、翌、昭和35年には、札幌市の人口50万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。毎年5月下旬の開花時期にあわせて開催される、「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの開放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、昭和34年度に第1回が開かれてから、平成17年度で47回を迎えました。



( URL ) <http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>

#### 第46・47回さっぽろライラックまつりの開催概要

	第46回（平成16年度）	第47回（平成17年度）
期 間	平成16年5月21日(金)～23日(日)	平成17年5月20日(金)～22日(日)
会 場	大通公園西4～7丁目	
行 事 等	苗木プレゼント、錦鯉の放流式、ライラック写生コーナー、野だて、大道芸、市民音楽の広場、似顔絵コーナー、スタンプラリー、科学館がやってきた、折紙教室、和紙ちぎり絵展示・教室、万華鏡の体験・展示コーナー、喫茶コーナー、ワインガーデン（第47回からの新規事業） 他	
観 客 数	285,400人	336,400人

#### (5) さっぽろ菊まつり

昭和30年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまでバラバラであった小規模な同好会の活動が一本化され、全市的なイベント「さっぽろ菊花展」が誕生しました。昭和38年の第1回開催から4年を経た第5回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。



札幌市の秋の恒例行事として内外に定着したこの祭りは、現在、札幌地下街のオーロラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場として開催されています。「大輪3本仕立」、「懸崖仕立」など丹精込めた作品が4日間にわたって地下街の通り中央にずらりと並び、その数は毎年、8百点に達します。

また、14年度より、菊づくり愛好者の裾野を広げ、より多くの方が菊まつりに出展できるように、菊づくり技術講習会を実施しています。

( URL ) <http://www.sweb.co.jp/kanko/kiku/>

#### 2004さっぽろ菊まつりの開催概要

期 間	平成16年10月31日(日)~11月3日(祝)4日間
会 場	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン、地下鉄大通駅コンコース
行 事 等	菊花プレゼント、菊花展、初心者相談コーナー、菊づくり講習会、菊オブジェ
観 客 数	140万人
出 展 数	796点

#### (6) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和56年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園の西2丁目のみを会場に1,048個の電球からスタートしました。現在は、大通公園と駅前通りを会場とするに至り、37万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫きます。



( URL ) <http://www.sweb.co.jp/kanko/white/>

#### 第24回さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要

会 期	大通公園会場 [大通西1~8丁目]	平成16年11月19日(金)~ 平成17年1月4日(火) 47日間
	駅前通り会場 [北5条~南4条]	平成16年11月19日(金)~ 平成17年2月13日(日) 87日間
点灯時間	16:00~22:00(12月23、24、25、31日は24:00まで)	
総電球数	37万個	
行 事 等	・写真コンテスト(応募作品数 208点) ・ミュンヘン・クリスマス市in Sapporo 大通西2丁目 11月20日(土)~12月14日(火) ・カウントダウン 大通西2丁目 12月31日(金)	

## 2 札幌でのコンベンション開催状況

### 札幌での主なコンベンション開催見込み状況

(単位：件、%)

年 度	合 計		国際大会	全国大会	全道大会
	件 数	前年比	件 数	件 数	件 数
12年度	804	96.3	77	210	517
13年度	818	101.7	50	212	556
14年度	680	83.1	37	240	403
15年度	608	89.4	39	198	371
16年度	842	138.5	41	92	709

注) 関係機関、市内各大学各種団体に照会し、回答のあったものについて集計。  
平成16年度分調査期間：2004年2月～2004年3月末

### 札幌コンベンションセンター利用状況(平成16年度)

#### 稼働率

(単位：日、%)

	利用日数	稼働率
大ホール	268	80.5
特別会議場	171	51.4
中ホール	252	75.7
小ホール	211	63.4
会議室(15室)	261	78.4

(注) 稼働率は、営業日数333日で計算。

#### イベント別

(単位：件)

イベント種別	件数	
会議・研修	1,516	
総会・大会	72	
試験	64	
学会	医学系	22
	工学系	3
	その他	8
	小 計	33
イベント	3	
芸術・文化イベント	2	
その他	129	
合 計	1,819	

#### 規模別

(単位：件)

規模	件数
100人以下	1,215
101～500人	444
501～1,000人	79
1,001～2,500人	58
2,501～5,000人	18
5,001人以上	5
合計	1,819

総来場者数	440,180人
-------	----------

## 平成16年度に開催された主な大規模コンベンション

### 1 第2回国連軍縮札幌会議

1997年（平成9年）の開催に続き2回目となる国連軍縮会議が札幌で開催され、「平和・安全保障に対するさまざまな挑戦及び今日の軍縮」をテーマに、連日熱心な議論が繰り広げられました。

会議の開催に当たっては、国連ジュニアワークショップ（世界がもし100人の村だったら - 平和編）をはじめとした多くの市民向けのプログラムが実施されるなど、あらためて軍縮問題を考える契機となりました。

期日：2004年（平成16年）7月26日（月）から29日（水）の4日間

会場：札幌コンベンションセンター

参加者数：アジア・太平洋諸国など 16カ国・72名

### 2 北海道フォトコンベンション2004

北海道の豊かな風景や風土を地域資源として位置づけ、写真でその価値を訴求し観光振興に役立てることを目的として開催された同大会では、道内の自治体や観光協会、写真団体などによる北の大地ロケーション見本市（45ブース）や、学生や若手の写真家らが自分の作品を展示・販売する写真のフリーマーケット「ふおとま」など様々なイベントが開催されました。

日程：2004年（平成16年）12月17日（金）から19日（日）の3日間

会場：札幌コンベンションセンター

入場者数：14,576人

## 国際コンベンション開催状況の他都市との比較

（単位：件）

2002年			2003年		
順位	都 市	件数	順位	都 市	件数
1	東京（23区）	793	1	東京（23区）	715
2	京都	209	2	京都	222
3	神戸	205	3	名古屋	193
4	大阪	192	4	神戸	168
5	名古屋	167	5	福岡	160
6	福岡	150	6	大阪	148
7	横浜	130		横浜	148
8	千里地区	119	8	つくば地区	90
9	つくば地区	80	9	札幌	87
10	札幌	71	10	千里地区	62

（注）千里地区：豊中、茨木、吹田、高槻、箕面の5都市  
つくば地区：土浦、つくばの2都市

（出典：国際観光振興機構（JNTO）コンベンション統計）

## 第5章 参考資料

### 1 観光施設等利用状況

#### 主な観光施設入場者数

(単位：人)

各年度中

施設名	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	前年度比 %
滝野すずらん丘陵公園(含むオートリゾート滝野)	560,583	612,407	655,791	608,102	644,874	106.0 %
円山動物園	674,296	740,755	705,332	653,091	630,565	96.6 %
大倉山ジャンプ競技場	732,713	678,791	650,293	618,692	549,203	88.8 %
藻岩山	525,975	606,727	534,019	495,005	463,724	93.7 %
羊ヶ丘展望台	515,186	547,353	504,638	504,192	448,552	89.0 %
北海道庁旧本庁舎	259,818	368,435	368,378	380,703	435,029	114.3 %
モエレ沼公園	262,650	244,003	236,582	551,246	420,013	76.2 %
J Rタワー展望台 T38			117,700	725,095	398,445	55.0 %
テレビ塔展望台	448,266	435,242	498,286	412,593	385,572	93.5 %
北海道立近代美術館	169,409	401,385	435,285	240,506	374,392	155.7 %
ISHIYA白い恋人パーク	177,400	191,152	207,836	243,663	317,713	130.4 %
札幌市青少年科学館	386,777	360,613	366,415	362,066	306,975	84.8 %
札幌芸術の森	265,066	285,099	321,278	238,386	277,673	116.5 %
サッポロさとらんど	347,800	359,160	457,100	345,220	262,390	76.0 %
北海道開拓の村	228,096	218,840	217,574	218,929	203,914	93.1 %
時計台	257,771	259,862	264,948	241,927	201,667	83.4 %
札幌市資料館	155,056	207,273	202,074	182,205	156,884	86.1 %
札幌ウィンタースポーツミュージアム	134,561	129,259	129,963	132,662	130,752	98.6 %
サンピアザ水族館	120,696	113,317	119,062	114,910	116,251	101.2 %
北海道開拓記念館	70,830	67,151	79,351	114,426	114,532	100.1 %
札幌ドーム(ドームツアー、展望台等利用者)		301,613	152,860	128,085	100,314	78.3 %
豊平峡	90,131	97,142	93,853	110,270	93,536	84.8 %
サッポロビール博物館	158,035	142,268	121,674	111,842	93,500	83.6 %
豊平川さけ科学館	91,311	96,489	83,377	73,196	80,415	109.9 %
北大附属植物園	85,879	83,533	77,815	76,719	50,544	65.9 %
オートリゾート滝野	39,716	42,429	42,136	22,097	46,887	212.2 %
北海道大学総合博物館	8,789	15,866	28,952	42,431	43,889	103.4 %
札幌市アイヌ文化交流センター				10,133	43,323	427.5 %
宮の森ジャンプ競技場	78,194	68,610	62,619	57,942	41,134	71.0 %
札幌市下水道科学館	35,450	42,128	37,525	36,664	31,102	84.8 %
北海道立文学館	24,085	26,177	38,203	29,381	30,220	102.9 %
定山溪自然の村	21,527	19,417	25,366	28,121	25,482	90.6 %
雪印乳業史料館	63,228	74,644	39,631	20,161	21,494	106.6 %
豊平館	19,573	26,386	24,422	22,431	18,319	81.7 %
渡辺淳一文学館	11,966	13,567	14,734	15,676	14,876	94.9 %
八窓庵	9,406	10,366	12,854	13,318	12,709	95.4 %
旧永山武四郎邸	9,088	10,701	11,266	8,929	10,388	116.3 %
清華亭	9,162	10,208	8,917	8,794	8,918	101.4 %
エドウィン・ダン記念館	2,610	2,851	1,268	6,412	7,532	117.5 %
札幌彫刻美術館	5,073	5,368	6,152	7,158	6,443	90.0 %
琴似屯田兵村兵屋跡	8,237	8,532	8,699	8,310	4,325	52.0 %
札幌村郷土記念館	3,711	3,730	3,740	2,688	3,145	117.0 %
旧黒岩家住宅	2,457	3,281	3,750	3,095	2,842	91.8 %
新琴似屯田兵中隊本部	462	457	1,552	1,247	1,228	98.5 %
北海道鉄道技術館	609	452	1,363	1,072	813	75.8 %

## 主な集客施設観客数

(単位：人)

各年度中

施設名	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	前年度比 %
札幌コンサートホールKitara	333,747	322,325	340,997	355,241	382,290	107.6%
札幌ドーム		1,684,727	1,691,442	1,651,099	2,201,963	133.4%

## スキー場利用者数

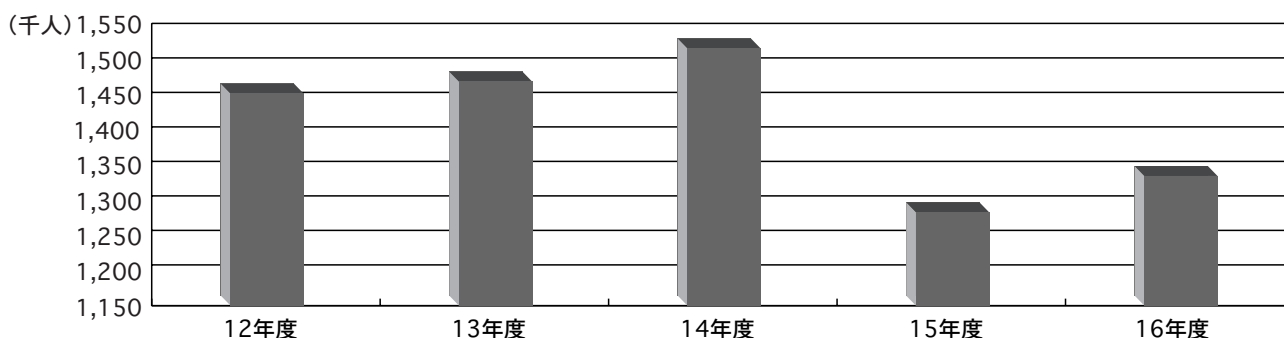
(単位：%)

各年度中

年 度	合 計	テイネ ハイ ランド	テイネ オリン ピア	コバ ワールド	ばん けい	藻岩山	真駒内	フッズ スノー エリア	札幌 国際
人数(千人)									
12年度	1,416	222	279	82	208	198	84		343
13年度	1,442	208	274	84	192	213	80	30	361
14年度	1,524	202	263	79	191	156	78	144	360
15年度	1,290	161	254	65	170	120	108	126	286
16年度	1,345	166	274	66	183	149	71	152	284
前年度比 (%)	104.3	103.1	107.9	101.5	107.6	124.2	65.7	120.6	99.3
リフト使用回数(千回)									
12年度	10,565	1,709	1,677	821	1,666	1,399	942		2,351
13年度	11,204	1,586	1,642	843	1,528	1,345	968	694	2,598
14年度	11,189	1,505	1,578	789	1,667	1,220	955	826	2,546
15年度	9,512	1,258	1,524	651	1,364	1,066	843	767	2,039
16年度	10,099	1,574	1,644	657	1,505	1,296	730	802	1,891
前年度比 (%)	106.2	125.1	107.9	100.9	110.3	121.6	86.6	104.6	92.7
平成16年度 営業期間		12/7 ~ 4/10	12/10 ~ 3/31	12/23 ~ 3/21	12/7 ~ 4/10	12/11 ~ 3/31	12/11 ~ 3/21	12/18 ~ 4/3	11/19 ~ 5/8

注) 利用者数はスキー場により集計方法が異なり、推計によるものも含まれる。

## スキー場利用者数の推移



(対前年度比で、利用者数が4.3%、リフト利用回数が6.2%増加しています。)

## 2 定期観光バス利用者数（北海道中央バス）

（単位：人）

各年度中

コース名	12年度	13年度	14年度	15年度	15年度	前年度比(%)	備考
さっぽろ散策バス	57,698	48,092	69,917	48,305	36,034	74.6	
春の札幌コース	657	573	632	377	231	61.3	
すずらんコース	13,128	13,604	12,977	9,818	8,531	86.9	
アカシアコース	2,819	3,325	2,419				平成14年10月廃止
ハマナスコース 注1)				4,667	5,410	115.9	
ライラックコース 注2)				4,352	2,473	56.8	
札幌おもしろ名所めぐり	4,367	3,609	3,282				平成14年10月廃止
みどころ札幌コース 注3)				2,695	2,574	95.5	
札幌一日コース	3,994	3,899	3,747	3,703	3,074	83.0	
夜の札幌コース	3,824	3,697	3,949	2,888	3,213	111.3	
ポプラコース		3,075	2,596				平成14年10月廃止
初冬の札幌コース	1,044	827	796	560	396	70.7	
冬の札幌コース	2,700	2,620	2,366	2,360	2,204	93.4	
白い恋人コース	7,320	6,835	6,194	4,696	3,121	66.5	
冬の大通公園と生ラムジンギスカン 食べ放題			263				平成15年2月廃止 平成16年12月廃止
かに会席料理と地酒試飲コース				438			
かに会席料理と羊ヶ丘展望台 注4)					606		
さっぽろファンタジックナイト	440	447	167	169	365	216.0	
合 計	97,991	90,603	109,305	85,028	68,232	80.2	

注1) 平成15年4月より運行

注2) 平成15年4月より運行

注3) 平成15年4月より運行

注4) 平成16年12月より運行



### 3 札幌発着航空路線

#### (1) 国内線

平成16年7月1日現在

発着空港	地 方	路 線		航空会社	
		都道府県	空 港		
新 千 歳	北 海 道	( 宗 谷 支 庁 )	稚 利 女	内 尻 別	A N A A N A J A L A N A
		( 網 走 支 庁 )	根 室 中 標 津		A N A
		( 根 室 支 庁 )	釧 路		H A C
		( 釧 路 支 庁 )	青 森 県	青 森 県	J A L J A L
	東 北	青 森 県	三 沢		J A L
			岩 手 県	い わ て 花 巻	J A L
		宮 城 県	仙 台		A N A J E X
			秋 田 県	秋 田	J A L
		山 形 県	山 形		J A L
			庄 内		A N A
		福 島 県	福 島		A N A
			千 葉 県	成 田	J A L A N A I B X
	関 東	東 京 都	羽 田		J A L A N A A D O
			新 潟 県	新 潟	A N A
	中 部	富 山 県	富 山		A N A
			石 川 県	小 松	A N A
		長 野 県	信 州 ま つ も と		J A L
			愛 知 県	中 部 国 際	J A L A N A
	近 畿	大 阪 府	伊 丹		J A L A N A
			関 西		J A L A N A
	中 国	島 根 県	出 雲		J A L
			岡 山 県	岡 山	A N A
			広 島 県	広 島	J A L A N A
	四 国	徳 島 県	徳 島		J A L
			香 川 県	高 松	A N A
		愛 媛 県	松 山		A N A
	九 州	福 岡 県	福 岡		J A L A N A
			鹿 児 島 県	鹿 児 島	A N A
	丘 珠	北 海 道	( 渡 島 支 庁 )	函 館	A N A H A C
			( 稚 内 支 庁 )	稚 内	A N A
			( 根 室 支 庁 )	根 室 中 標 津	A N A
			( 釧 路 支 庁 )	釧 路	A N A H A C
			( 網 走 支 庁 )	女 満 別	
オ ホ ー ツ ク 紋					H A C

注) 航空会社欄のJALは日本航空、ANAは全日本空輸、HACは北海道エアシステム、ADOは北海道国際航空、JEXはJALエクスプレス、IBXはIBEXエアラインズを示す。

## (2) 国際線

(単位：人)

平成17年8月1日現在

発着空港	路線	航空会社
新千歳	ソウル	大韓航空
	グアム	コンチネンタル航空
	香港	キャセイパシフィック航空
	瀋陽	中国南方航空
	ユジノサハリンスク	サハリン航空
	上海	中国東方航空
	台北	エバー航空

## 4 気象概況

札幌管区気象台発表の数値を基礎に集計したものである。

年 度	気温( )			日照時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪量 (cm)	寒暖日数 <sup>1)</sup>			
	平均	最高	最低				真夏日	夏日	冬日	真冬日
平 年 <sup>2)</sup>	8.5	-	-	1,774.8	1,127.6	496	8	46	130	48
12年度	8.6	36.0	-15.0	1,594.2	1,338.5	497	10	66	128	63
13年度	9.2	29.3	-11.7	1,710.7	1,162.5	417	0	54	116	45
14年度	8.5	30.6	-14.8	1,695.9	1,074.0	465	2	35	131	61
15年度	9.1	29.1	-11.0	1,752.6	1,027.5	386	0	34	118	30
16年度	9.3	33.2	-11.7	1,637.0	1,188.5	610	14	44	122	52
平成16年4月	6.6	19.9	-3.6	168.8	28.5	11	-	-	4	-
5月	13.8	28.2	4.4	174.5	76.0	-	-	2	-	-
6月	18.5	30.6	9.1	188.1	58.0	-	1	12	-	-
7月	21.3	33.2	11.3	162.8	70.5	-	6	10	-	-
8月	21.9	33.2	12.7	169.6	128.0	-	7	12	-	-
9月	18.4	28.6	11.0	150.1	126.5	-	-	8	-	-
10月	12.5	24.3	0.3	140.3	46.0	-	-	-	-	-
11月	7.2	19.2	-5.2	110.7	85.0	18	-	-	4	-
12月	-0.8	10.9	-5.3	70.7	172.0	110	-	-	29	6
平成17年1月	-3.5	7.0	-11.7	71.5	153.5	237	-	-	31	16
2月	-3.9	3.2	-11.1	95.3	120.5	139	-	-	28	20
3月	0.1	9.2	-11.0	134.6	124.0	95	-	-	26	10

1) 真夏日とは最高気温が30.0 以上の日、夏日とは最高気温が25.0 以上の日、冬日とは最低気温が0.0 未満の日、真冬日とは最高気温が0.0 未満の日をいう。

2) 1971年から2000年までの平均値。

## 5 札幌観光のあゆみ

年 度	沿 革
大正11(1922)年	市制施行。
昭和 2 (1927)年	公会堂として豊平館新館完成。
6 (1931)年	大倉山シャンツェ竣工。
11(1936)年	札幌観光協会設立。
12(1937)年	札幌 - 東京間定期航空開始。
21(1946)年	定山溪観光協会設立。
25(1950)年	第 1 回さっぽろ雪まつり開催。
26(1951)年	円山動物園開園。
28(1953)年	札幌 - 千歳間(国道36号線)弾丸道路舗装完成。
29(1954)年	第 1 回狸まつり、さっぽろ夏まつり開催。
32(1957)年	豊平館、中島公園内に移築。テレビ塔完成。
33(1958)年	藻岩山観光自動車道、もいわ山ロープウェイ営業開始。
34(1959)年	第 1 回さっぽろライラックまつり開催。ポートランド市と姉妹都市提携調印。羊ヶ丘展望台開設。
35(1960)年	市民の投票により札幌の花(スズラン)、木(ライラック)、鳥(カッコウ)を決定。
38(1963)年	第 1 回さっぽろ菊まつり開催。
40(1965)年	第 1 回定山溪かっぱ祭り開催。第 1 回すすきの祭り開催。
45(1970)年	時計台が重要文化財に指定される。90m級大倉山ジャンプ競技場完成。
46(1971)年	北海道開拓記念館オープン。
47(1972)年	第11回冬季オリンピック大会開催。政令指定都市へ移行し、7区役所開設。ミュンヘン市と姉妹都市提携調印。豊平峡ダム完成。
48(1973)年	札幌市資料館オープン。札幌観光協会社団法人化。
52(1977)年	「札幌の観光(観光白書)」発行開始。
53(1978)年	「カッコウの窓口」開設。すすきの観光協会設立。
54(1979)年	緑のセンター開設。25年ぶりに豊平川にサケ遡上。
55(1980)年	瀋陽市と友好都市提携調印。冬のスポーツ博物館オープン。本市の観光キャッチフレーズ「好きです。Sapporo」がロゴマークとともに決定。
56(1981)年	青少年科学館オープン。第 1 回さっぽろホワイトイルミネーション開催。
58(1983)年	北海道開拓の村オープン。百合が原公園開園。
59(1984)年	第 1 回札幌国際見本市開催。豊平川さけ科学館オープン。
61(1986)年	「国際観光モデル地区」の指定を受ける。第 1 回アジア冬季競技大会。86さっぽろ花と緑の博覧会開催。札幌芸術の森一部オープン。
62(1987)年	第 1 回さっぽろ国際フェスティバル開催。

年 度	沿 革
平成元(1989)年	定山溪ダム完成。はまなす国体開催。円山動物園に「タスマニア館」オープン。厚別・手稲区の誕生により、9区体制へ移行。
2(1990)年	「さっぽろ雪まつり」の中島会場を第4会場として設置。ノボシビルスク市と姉妹都市提携調印。PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)初開催。「観光基本計画」策定。
3(1991)年	ユニバーシアード冬季大会開催。定山溪に「メルヘンかっぱ像」20体設置。第1回定山溪もみじ大茶会開催。
4(1992)年	政令指定都市移行20周年記念事業メモリアルコンサート「さっぽろの歌」開催。定山溪観光協会社団法人化。観光客誘致キャンペーン「さっぽろの夕べ」初開催。第1回YOSAKOIソーラン祭り開催。
5(1993)年	大通公園(8-9丁目)連続化実現。第1回さっぽろふれあいフェスタ開催。すすきの観光協会社団法人化。
6(1994)年	「国際会議観光都市」の認定を受ける。リンケージ・アップ・フェスティバル初開催。阪神淡路大震災のため「さっぽろ雪まつり」の花火大会などを自粛。
7(1995)年	円山動物園にキッドランドと鳥類館オープン。サッポロさとらんど一部オープン。「おおば比呂司記念室」札幌市資料館内にオープン。YOSAKOIソーラン祭り普及振興会設立。札幌市観光産業経済効果調査結果発表。
8(1996)年	「さっぽろリンクルバス」登場。「石山緑地」完成。定山溪温泉「健康保養地」宣言。さっぽろホワイトイルミネーション「日本建築美術工芸協会賞 特別賞」受賞。2002年ワールドカップサッカー大会開催決定。青少年科学館リニューアルオープン。
9(1997)年	下水道科学館、札幌コミュニティドーム(愛称・つどーむ)、札幌コンサートホール「Kitara」オープン。道央三温泉協議会設立。札幌市営観光バスを廃止。清田区の誕生により10区体制へ移行。
10(1998)年	YOSAKOIソーラン祭り組織委員会設立。円山動物園「動物センター」、渡辺淳一文学館、定山溪自然の村、モエレ沼公園オープン。さっぽろ夏まつりピアガーデンに地ビール登場。北海道国際航空エア・ドゥ就航。
11(1999)年	さっぽろ羊ヶ丘展望台「羊ヶ丘ウエディングパレス」、北海道立総合体育センター(愛称・きたえる)オープン。
12(2000)年	大倉山ジャンプ競技場リニューアルオープン。札幌ウィンタースポーツミュージアムオープン。
13(2001)年	札幌ドーム「Hiroba」オープン。
14(2002)年	2002 FIFAワールドカップ開催(札幌ドームで3試合開催)。ミュンヘン・クリスマス市in Sapporo開催。札幌駅南口にJRタワーオープン。
15(2003)年	札幌コンベンションセンターオープン。
16(2004)年	さっぽろ赤レンガカフェオープン、さっぽろら〜めん共和国、千歳鶴ミュージアム・アネックスオープン。サッポロビール博物館リニューアルオープン。

## 6 平成17年度のイベントカレンダー

日程・イベント名等は予定です。変更の可能性あります。ご注意ください。

	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先(市外局番011)
5月	溪流鯉のぼり	4月16日(土) ～5月8日(日)	定山溪の溪流に400以上の鯉のぼりを掲揚する、定山溪温泉の春の風物詩。	定山溪スポーツ公園ほか	定山溪温泉旅館組合 598-2537
	第13回バイシクルエンデューロ	5月15日(日)	スキー場を使用したコースをマウンテンバイクで走るレース。ビギナーから競技者まで幅広い方が参加しています。	藤野野外交流施設	札幌市スポーツ振興事業団 530-5550
	第47回さっぽろライラックまつり	5月20日(金) ～22日(日)	ライラック苗木のプレゼント、記念植樹、野だて、喫茶コーナー、音楽隊演奏など、札幌の木ライラックが満開の大通公園の春のイベント。	大通公園	実行委員会 211-2376
	藻岩山の日	5月31日(火)	標高531mにちなみ、ロープウェイ無料運行、クリーンハイキング、記念写真展(～6/6)などのイベントを行う。	藻岩山	事務局 211-2376
6月	第14回YOSAKOIソーラン祭り	6月8日(水) ～12日(日)	自由で独創的な激しいリズムによって約300チーム、4万人以上が乱舞する。飛び入り参加ができるワオドリソーランもあります。	大通公園ほか	組織委員会 231-4351
	北海道神宮例祭	6月14日(火) ～16日(木)	御輿、山車、露店など、昔ながらのお祭りです。「郷土の日」を実感する、通称「札幌祭り」です。	北海道神宮・札幌市内	北海道神宮 611-0261
	花フェスタ2005札幌	6月25日(土) ～7月3日(日)	パビリオンでのラン展示他、立体花壇や花モニュメントで初夏の札幌の街を美しく彩ります。	大通公園	事務局 219-3987
7月	モエレ沼公園グランドオープン	7月1日(金) ～3日(日)	完成式典、「海の噴水」通水式のほか、ジュニアJAZZバンドのコンサートやシャパンピクニックなどのイベントを開催します。	モエレ沼公園	(仮称)モエレ沼公園グランドオープン・プロモーション実行委員会 211-2376
	PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル2005)	7月9日(土) ～8月4日(木)	若手音楽家を育成するとともに、音楽教育を通じて音楽文化の普及・発展をめざす国際音楽祭。	芸術の森ほか	組織委員会 242-2211
	豊平川花火大会	7月15日(金) 7月22日(金) 7月29日(金)	道新・UHB花火大会 読売新聞花火大会 朝日新聞・HTB花火大会	豊平川南大橋付近	北海道新聞社、読売新聞社、朝日新聞社 道新210-5732読売242-5630朝日281-2131
	2005クロスカントリーフェスティバル札幌	7月17日(日)	森林を走るランニング大会。コースの大半は芝と土なので脚に優しく、自然に囲まれたコースを爽快に走ることができます。	白旗山競技場	札幌市スポーツ振興事業団 530-5550
	第31回豊平川イカダ下り	7月17日(日)	市民のチームが、手製のイカダで川を下る。ユニークなイカダやコスチュームでのパフォーマンスが楽しい。	豊平川南大橋上流	実行委員会事務局(中央区役所地域振興課内) 231-2400内線256
	第52回さっぽろ夏まつり	7月21日(木) ～8月20日(土)	約1ヶ月間、大通公園を会場に、ピアガーデンなど、様々なイベント等で夏を楽しみます。	大通公園	実行委員会 211-2376
	第52回狸まつり	7月21日(木) ～8月20日(土)	さっぽろ夏まつりに併せて行われる、狸小路の夏まつり。歴史ある商店街の情緒ある祭り風情は、とても素敵です。	狸小路商店街	商店街振興組合 241-5125
	花フェスタin赤れんが	7月21日(木) ～31日(日)	歴史ある旧本庁舎を花で飾り、ピアガーデンが開かれる。	北海道庁旧本庁舎・前庭	NPO北海道花ネットワーク内 赤れんがフェスタ実行委員会 281-8739
	カルチャーナイト2005	7月22日(金)	普段は夕方閉館する文化施設や民間施設で夜間開放を行う。普段はできない貴重な文化体験ができます。	大倉山ジャンプ競技場他	実行委員会 261-8633
第18回さっぽろ旭山音楽祭	7月29日(金)	花火をバックに、札幌を一望する旭山記念公園のステージで700人の大合唱を鑑賞する野外音楽祭。	旭山記念公園	旭山うた祭りの会 561-9693	

8月	第41回定山溪かっぱ祭り	8月5日(金)~10日(水)	よさこいかっぱソーラン、湯けむり太鼓など、湯の街あげてのお祭り。宿泊客や見学の方も飛び入りで踊ることもできます。	定山溪温泉街	定山溪観光協会	598-2012
	第41回すすきの祭り	8月4日(木)~6日(土)	屋台、花魁道中、みこし渡御、ワゴンセールなど、すすきのが一大イベント会場に。綺麗な花魁は必見です。	すすきの地区	すすきの観光協会	518-2005
	第6回大倉山サマージャンプ大会	8月6日(土)~7日(日)	国内のトップ選手が集うノルディックスキージャンプ競技の大会。冬だけでなく夏でもジャンプ競技を観戦することができます。	大倉山ジャンプ競技場	企画事業課	211-3044
	灯籠流し	8月15日(月)	毎年8月15日の行事。	鴨々川護国神社付近	妙心寺	511-7634
	石山緑地芸術祭	8月19日(金)~21日(日)	石山軟石採掘跡を利用した、幻想的な公園「石山緑地」をステージに、薪能や創作舞踊、YOSAKOIなどが繰り広げられる。公園の独特な雰囲気と、舞踊の幻想は一見の価値があります。	石山緑地	石山緑地芸術祭運営委員会	832-4444
	かがやけコトニ～屯田兵の里まつり	8月27日(土)~9月4日(日)	北海道で初めての屯田兵が琴似に入植してから130周年を迎え、屯田兵のパレードや歴史展、演劇、ジャズ演奏など、多彩な記念イベントが楽しめます。	琴似地区ほか	実行委員会事務局(札幌市西区役所内)	641-2400(内337)
2005北海道マラソン	8月28日(日)	国内・外の招待選手をはじめ一般ランナー合せ約3000人がフィニッシュ地点の中島公園を目指します。札幌市内各地で選手の力走をみることができます。	真駒内屋外競技場スタート、中島公園フィニッシュ	北海道新聞社	232-0840	
9月	第5回「だい・どん・でん！」	9月3日(土)4日(日)	札幌駅前通りの歩行者天国で、大道芸・アート・音楽のあらゆるジャンルのパフォーマンスが行われます。	駅前通(歩行者天国)	札幌都心にぎわいづくり事項委員会事務局	231-3828
	リンケージ・アップ フェスティバル2005	9月3日(土)4日(日)	全道各地の特産品、郷土芸能を一堂に集め、味覚を楽しみ、交流を深めます。旬の食材は大人気で、大通公園が巨大市場となります。	大通公園(5丁目~8丁目)	実行委員会	290-1313
	フードランド北海道2005	9月3日(土)~10月10日(月・祝)(大通公園会場は9月11日(日)まで)	全道各地で観光・物産PR、体験イベントを開催。札幌市内では、北海道産食材を使ったオリジナル料理が、大通公園等で味わえます。	大通公園(2丁目、5丁目~8丁目)他	実行委員会	231-1122
	第28回北海道を歩こう	9月4日(日)	真駒内からスタートし支笏湖まで33キロを歩くウォーキングイベント。	真駒内~支笏湖	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
	アシリチェップノミ(新しい鮭を迎える儀式)	9月19日(月・祝)	アイヌ民族の伝統行事「新しい鮭迎いの儀式」で、途絶えてからおおよそ100年ぶりに昭和57年から復活した。	豊平川南7条大橋上流左岸河川敷(南7条西1丁目)	札幌アイヌ文化協会	FAX 682-8993
	簾舞通行屋まつり	9月25日(日)	札幌市指定文化財・旧黒岩家住宅で催される簾舞地域の交流イベント。	旧黒岩家住宅(旧簾舞通行屋)	旧黒岩家住宅(旧簾舞通行屋)保存会	596-2825
10月	第30回札幌マラソン大会	10月2日(日)	小学生の2kmから大人の21kmまで幅広く参加できる市民マラソン大会。	真駒内屋外競技場スタート	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
	第15回定山溪もみじ大茶会	10月10日(月・祝)	定山溪温泉内の6会場(ホテル)で、本格的なお茶会が開かれます。	定山溪温泉	定山溪観光協会	598-2012
	2005さっぽろ菊まつり	10月31日(月)~11月3日(木・祝)	大輪や懸崖など、市民の自慢の力作が地下街に大々的に展示されます。	札幌地下街	実行委員会	211-2376

11月	さっぽろアートステージ2005	11月1日～30日	札幌市の芸術文化月間と位置付け、演劇、ストリートライブ、小中高校生の音楽祭等、文化的事業を集中的に行います。	市内各所	実行委員会	211-2261
	第25回さっぽろホワイトイルミネーション	大通 11月18日(金)～ 18年1月4日 駅前通 11月18日(金)～ 2月12日(日)	メインオブジェ、立木装飾など、37万個を超える電球が、札幌駅前通、大通公園を鮮やかに彩ります。	大通公園・札幌駅前通	札幌観光協会	211-3341
	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo	11月19日(土)～ 12月11日(日)	姉妹都市ミュンヘンのクリスマス市を大通公園に再現します。異国情緒豊かで、本場ドイツのワインやビール、ソーゼージなど特産品が味わえます。	大通公園2丁目	クリスマス市実行委員会	211-2032
12月	北海道フォトコンベンション2005	12月16日(金)～ 18日(日)	写真にまつわる様々なイベントを開催します。	札幌コンベンションセンター	事務局	211-3675
	COUNTDOWN SAPPORO 2006	12月31日(土)～ 1月1日(日)	テレビ塔の電光時計を見ながらカウントダウンを行います。毎年多くの人に参加し、盛り上がりを見せている。	大通公園2・3丁目	事務局	241-0857
1月	FISワールドカップジャンプ2006札幌大会(2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会ブレ大会)	18年1月21日(土)～ 22日(日)	世界トップクラスのジャンパーが大倉山を舞台に熱戦を繰り広げます。(日程は変更となる場合があります)	大倉山ジャンプ競技場	(財)2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会組織委員会	281-2007
2月	第57回さっぽろ雪まつり	18年2月6日(月)～ 12日(日)	いまや、世界的にも有名になっている、雪国最大のイベント。300基を超える雪氷像が、大通公園やすすきのの会場で堪能できます。雪で出来ているとは思えない精巧な大雪像は、高さ15メートルにも及びます。	大通公園・すすきの	実行委員会	211-2376
	第26回札幌国際スキーマラソン	18年2月12日(日)	札幌の冬の風物詩となった国際色豊かなクロスカントリー(歩くスキー大会)。競技型から市民参加型まで5種目あります。	札幌ドーム周辺	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
	第23回札幌市長杯スノーホッケー大会	18年2月19日(日)	札幌市発祥のスノースポーツ。スティックにレットと呼ばれるスキーを履いてプレーします。初心者でも気軽に参加することができます。	円山総合運動場	企画事業課	211-3044
3月	FISワールドカップノルディックコンバインド2006札幌大会(2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会ブレ大会)	18年3月18日(土)～ 19日(日)	トリノ冬季オリンピックを闘いぬいてきた世界のトップアスリートが札幌の地で「キング・オブ・スキー」の座を争います。	大倉山ジャンプ競技場、白旗山競技場	(財)2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会組織委員会	281-2007
	FISワールドカップクロスカントリー-2006札幌大会(2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会ブレ大会)	18年3月18日(土)～ 19日(日)	世界のトップアスリートが白旗山を舞台に熱戦を繰り広げます。	白旗山競技場	(財)2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会組織委員会	281-2007
	第77回宮様スキー大会国際競技会	18年3月2日(木)～ 5日(日)	宮家のお力添えを賜りながら、長い歴史と伝統を誇るスキーの国際競技大会。広く市民が参加できるよう宮様スキーバレーも開催しており、誰でも大会に参加できます。	大倉山ジャンプ競技場他	企画事業課	211-3044

本書は、ホームページ「札幌の観光行政（<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/index.html>）」で、公開されています。

平成17年度版 札幌の観光  
平成17年10月発行

市政等資料番号	01-K04-05-466
広報印刷番号	17-1-36
関係部局保存期間	1年

編集・発行 札幌市観光文化局観光部観光企画課  
〒060・8611 札幌市中央区北1条西2丁目  
TEL (011) 211 - 2376



この冊子は再生紙を使用しています。

さっぽろ市



